

日本外交文書

昭和期Ⅱ第一部第二卷
(昭和八年対中国關係)

日付索引

昭和期Ⅱ第一部第二卷
（昭和八年対中国関係）
日付索引

一月

事項 番号	文書 番号	日付	電信 番号	発・受 信者	件名	頁
三	141	昭和8年1月4日	六	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛（電報）	満州国による関内よりの阿片密輸入計画につ いて	175
三	142	昭和8年1月7日	一六	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛（電報）	満州国は公正なる方法により阿片を入手すべ き旨意見具申	175
三	143	昭和8年1月9日	二二	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛	満州国査証官の大連・安東・營口への派遣承 認方同国外交部要請について	176
二	57	昭和8年1月10日	二二	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛（電報）	ドリルを代表とする仏国財団と満鉄との共同 出資による満州国への投資会社設立案について	80
二	58	昭和8年1月11日	二七	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛（電報）	英米煙草トラスツの奉天付属地内工場用地借 入れ要望に対する満鉄側回答振りについて	80
二	59	昭和8年1月12日	一一	内田外務大臣より 在仏国沢田臨時代理大使宛（電報）	ドリル側財団の満州国への投資に対する仏国 政府の意向および同財団組織の確実性につき 調査方訓令	81
三	144	昭和8年1月13日	三一	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛（電報）	満州国の満鉄に対する付属地内での出産税徴 収委託問題に関する同社意向について	177
三	145	昭和8年1月13日	三二	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛（電報）	満鉄による出産税代理徴収承認方満州国要請 について	177

三	151	昭和8年1月30日	八一	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	満州国・満鉄間に鉄道委託経営に関する契約締結の見込みについて	185
三	150	昭和8年1月30日	六三	内田外務大臣より 在満州国武藤大使宛(電報)	出産税満鉄代徴問題に関する疑問点について	184
二	63	昭和8年1月30日	六八	在米出国出淵大使より 内田外務大臣宛(電報)	旧東北政権の外国商社売却代金整理問題および満州国の門戸開放状況などに関する米国紙論評について	85
九	596	昭和8年1月26日	三七	在厦門三浦領事より 内田外務大臣宛(電報)	阿片取扱いなど不正業に従事する台湾籍民への公安局の取締強化などに関し同局側と意見交換について	735
三	149	昭和8年1月26日	関機高 八五一	林閣東庁警務局長より 有田外務次官宛	日満通商条約に関する奉天商業会議所要望事項について	181
九	595	昭和8年1月25日	五〇	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	排日運動の横行する限り治外法権の撤廃は困難なる旨を各方面に説示し間接的に中国側の反省を促す方針について	734
一	4	昭和8年1月25日	五三	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	熱河問題および張學良対策に関する満州国側方針など板垣同国執政顧問の談話について	4
二	62	昭和8年1月24日	五〇	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	邦人当業者の利益保護優先は対外的に悪影響あるため英米煙草トラスットの付属地内事業経営を許可すべき旨意見具申	84
一	3	昭和8年1月23日	四七	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	内田外相の議会演説を非難し東三省の主権回復までは和解せずと羅文幹外交部長談話発表について	3
八	527	昭和8年1月21日	四四	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	外国炭に対するダンピング税導入を沈叔玉閣務署長否定について	668
三	148	昭和8年1月21日	五〇	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	満州国阿片専売制度実施に伴う朝鮮人当業者の処遇問題について	179
二	61	昭和8年1月21日	二二	在英国松平大使より 内田外務大臣宛(電報)	地方有力実業家とエドワーズとの意見交換について	82
一	2	昭和8年1月20日	三七	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	満州問題に関する日本側態度は強硬すぎるなど唐紹儀見解披露について	2
二	60	昭和8年1月18日	四二	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	英米煙草トラスットの奉天付属地内事業経営許可に際しては東亜煙草と合意協定成立を条件とすべき旨意見具申	82
五	329	昭和8年1月17日	機密二八	在済南西田総領事より 内田外務大臣宛	膠済鉄路理事会の内債による同鉄道回収計画について	406
三	147	昭和8年1月17日	本機密三四	在チチハル内田領事より 内田外務大臣宛	馬占山発行の偽紙幣処分問題について	178
三	146	昭和8年1月16日	四三	在天津桑島総領事より 内田外務大臣宛(電報)	関内における満州国係員の阿片直接買付けの中止について	178
一	1	昭和8年1月16日	合一四二	内田外務大臣より 在米国出淵大使宛(電報)	山海関事件への中国側対応方針に関する呉鉄城および彭学沛の内話について	1
二	60	昭和8年1月18日	四二	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	英米煙草トラスットの奉天付属地内事業経営許可に際しては東亜煙草と合意協定成立を条件とすべき旨意見具申	82
一	2	昭和8年1月20日	三七	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	満州問題に関する日本側態度は強硬すぎるなど唐紹儀見解披露について	2
二	61	昭和8年1月21日	二二	在英国松平大使より 内田外務大臣宛(電報)	満州国門戸開放問題に関するマンチエスタール地方有力実業家とエドワーズとの意見交換について	82
三	148	昭和8年1月21日	五〇	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	満州国阿片専売制度実施に伴う朝鮮人当業者の処遇問題について	179
八	527	昭和8年1月21日	四四	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	外国炭に対するダンピング税導入を沈叔玉閣務署長否定について	668
三	148	昭和8年1月21日	五〇	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	満州国阿片専売制度実施に伴う朝鮮人当業者の処遇問題について	179
二	61	昭和8年1月21日	二二	在英国松平大使より 内田外務大臣宛(電報)	地方有力実業家とエドワーズとの意見交換について	82
一	2	昭和8年1月20日	三七	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	満州問題に関する日本側態度は強硬すぎるなど唐紹儀見解披露について	2
二	60	昭和8年1月18日	四二	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	英米煙草トラスットの奉天付属地内事業経営許可に際しては東亜煙草と合意協定成立を条件とすべき旨意見具申	82
五	329	昭和8年1月17日	機密二八	在済南西田総領事より 内田外務大臣宛	膠済鉄路理事会の内債による同鉄道回収計画について	406
三	147	昭和8年1月17日	本機密三四	在チチハル内田領事より 内田外務大臣宛	馬占山発行の偽紙幣処分問題について	178
三	146	昭和8年1月16日	四三	在天津桑島総領事より 内田外務大臣宛(電報)	関内における満州国係員の阿片直接買付けの中止について	178
一	1	昭和8年1月16日	合一四二	内田外務大臣より 在米国出淵大使宛(電報)	山海関事件への中国側対応方針に関する呉鉄城および彭学沛の内話について	1

二	66	昭和8年2月12日	一二九	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	諸外国による満州国非協力運動台頭の可能性に鑑みその牽制の意味でドリル側財団との合併会社案推進方意見具申	88
三	153	昭和8年2月11日	一二八	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	出産税満鉄代徴問題の疑義に関し回答について	191
十	702	昭和8年2月10日	八八	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	中国に対する米国の小麦借款交渉および米国の製航空機輸出などに関し在中国米國参事官の内話について	858
三	220	昭和8年2月10日	一二五	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	満州国土地商租暫行弁法実施の際の同国側の申合せ事項中にある同国課税および警察法令服従に関する適用範囲の本省側解釈訂正方稟請	276
三	219	昭和8年2月10日	合七	在牛莊荒川領事より 内田外務大臣宛(電報)	満鉄線付属地内邦人煙草工場生産品の付属地外搬出分に対する満州国側の統税徴収策について	273
三	152	昭和8年2月10日	一二七	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	当業者よりの満州国中央銀行の特産物買付け中止方陳情に対する同行説明振りについて	190
三	218	昭和8年2月9日	合三二五二	内田外務大臣より 在米國出淵大使、在中国有吉公使、在中國中山公使館一等書記官他宛(電報)	満州国土地商租暫行弁法実施について	273
十	665	昭和8年2月(8)日	三七	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)	中国軍の上海停戦協定区域内通過事件に対する我が方抗議措置について	809
三	217	昭和8年2月6日	一二三	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	通商条約締結に至るまでの暫行的措置として満州国政府と取極めた商租権の黒竜江省への拡大実施に際する申合せ事項について	272
三	216	昭和8年2月6日	一一一	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	満州国における日本人土地商租権を黒竜江省にも拡大実施する暫行弁法につき同国政府発表について	271
二	65	昭和8年2月4日	四七	在仏國沢田臨時代理大使より 内田外務大臣宛(電報)	ドリル側財団に対しては資本誘致を含まない形で建築事業発注方意見具申	87
一	5	昭和8年2月2日	二六	在済南西田総領事より 内田外務大臣宛(電報)	中国側対日動向に関する姚以价の分析について	5
二	64	昭和8年2月1日	九二	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	旧東北政權の外国商社売却代金整理問題への満州国対応振りに関する説明要領について	86
九	597	昭和8年1月31日	三七	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	改組後の福建省政府の対日態度について	740
		一月		付記 昭和七年十二月二十四日付、作成局課不明「満洲國鐵道水運ノ借款、建造及經營委託ニ關スル諸契約ノ對外取扱振ノ件」		186
				別電 二月六日発在満州国武藤大使より内田外務大臣宛第一一二号 右発表文		271
				付記一 昭和七年六月十三日発在中國重光公使より齋藤外務大臣宛電報第九五〇号 協定区域内中国軍通過問題に関し共同委員会開催について		810
				二 昭和七年六月十三日発在中國重光公使より齋藤外務大臣宛電報第九五一号 右問題に対する共同委員会中立委員決定		811

二	68	昭和8年2月28日	一八二	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	中国軍の上海停戦協定区域内通過事件に対する措置振りにつき請訓	811
十	671	昭和8年2月27日	二八	内田外務大臣より 在上海石射総領事宛(電報)	満州国課税および警察法令服従義務の適用範囲に関する本省側解釈の根拠について	277
三	156	昭和8年2月27日	一七八	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	中国軍の上海停戦協定区域内通過事件に対する共同委員会英米側委員の意向について	813
九	602	昭和8年2月25日	二二八	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	輸入貨物原産国標記条例の実施延期に関する新聞報道につき外交部に照会について	741
九	601	昭和8年2月24日	一一五	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	昭和七年十二月二日発在中國有吉公使より内田外務大臣宛電報第一三八八号	742
二	67	昭和8年2月24日	一六七	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	二 昭和七年十二月二十四日発内田外務大臣より在中國有吉公使宛電報第四九七号	743
十	670	昭和8年2月22日	六〇	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)	右条例の実施延期を中国側に申入れ方訓令	743
九	600	昭和8年2月22日	五九	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)	三 昭和七年十二月二十七日発在南京上村総領事代理より内田外務大臣宛電報第八六〇号	743
三	155	昭和8年2月22日	三二八五	林閣東庁警務局長より 有田外務次官他宛	右実施延期方を外交部に申入れについて	743
十	669	昭和8年2月21日	二四	内田外務大臣より 在上海石射総領事宛(電報)	平津銀行団による借款成立など宋子文の張学良援助策および宋らの抗日政策提唱への蔣介石の不满に関する情報について	7
十	668	昭和8年2月20日	五六	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)	熱河攻略に伴う中国各地在留邦人の保護措置について	744
三	154	昭和8年2月20日	五	在ブラゴヴェスチンスク豊原領事代理 より 内田外務大臣宛(電報)	満州国課税および警察法令服従義務の適用範囲に関する本省側解釈の根拠に対する疑義について	278
三	222	昭和8年2月19日	一五〇	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	馬占山発行紙幣処分問題への不安による黒河市況の動揺について	193
九	599	昭和8年2月17日	一〇四	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)		
一	6	昭和8年2月17日	七二	在中国中山公使館一等書記官より 内田外務大臣宛(電報)		
九	598	昭和8年2月16日	一〇三	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)		
十	667	昭和8年2月15日	五一	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)		
三	221	昭和8年2月15日	一〇三	在満州国武藤大使宛(電報)		
十	666	昭和8年2月13日	四七	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)		

三	一	二	十	一	十	十	三	十	三	九
159	9	71	675	8	703	674	158	673	157	605
昭和8年3月17日	昭和8年3月17日	昭和8年3月16日	昭和8年3月(15)日	昭和8年3月15日	昭和8年3月14日	昭和8年3月14日	昭和8年3月14日	昭和8年3月(13)日	昭和8年3月13日	昭和8年3月11日
通一機密 一一一六	一六八	二五〇	一〇三	一一三	一五三	機密二八六	機密公四一	九九	一六五	七八
内田外務大臣より 在満州国武藤大使宛	在天津桑島総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在中国中山公使館一等書記官より 内田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛	在ブラゴヴェスチensk豊原領事代理 より 内田外務大臣宛	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣より 在満州国武藤大使宛(電報)	在漢口清水総領事より 内田外務大臣宛(電報)
満州国査証官の大連・安東・營口への派遣承認について	蔣介石に対し華北における日中関係好転など 対日政策転換を具体的に説得すべき旨意見具申	付属地内事業経営に関する満鉄への保証事項 に關し英米煙草トラスト側と合意成立について	中国軍の上海停戦協定区域内通過事件に對する 米仏両国総領事の見解について	張学良下野は蔣介石の策謀によるとの情報につ いて	故宫博物館所蔵品を担保とする対米武器借款 説を在中國米國参事官否定について	中国軍の上海停戦協定区域内通過事件に關す る我が方抗議文および中国側回答文轉達につ いて	馬占山発行紙幣の回収状況について	中国軍の上海停戦協定区域内通過事件に關す る我が方抗議文に對しての中国側回答振りに ついて	出產税満鉄代徴の承認およびその代償として 関税率引下げ要求方訓令	日清汽船買弁の暗殺事件に伴う排日運動激化 の状況について
197	10	95	822	9	859	820	197	820	196	750

九	一	十	二		二	九
604	7	672	70		69	603
昭和8年3月10日	昭和8年3月10日	昭和8年3月(9)日	昭和8年3月7日		昭和8年3月1日	昭和8年2月28日
八八	一五二	八二	一四四		一三八	七三
在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在天津桑島総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在ハルビン森島総領事より 内田外務大臣宛(電報)	別電 三月一日発内田外務大臣より在満州国武藤大使宛第一三九号 右組合契約要領	内田外務大臣より 在満州国武藤大使宛(電報)	在厦門三浦領事より 内田外務大臣宛(電報)
原産国標記条例の修正に関する邦人当業者の 運動について	黄郭起用など対日関係を顧慮した蔣介石の華 北方面時局処理方策に関する張熾章大公報主 筆の内話について	中国軍の上海停戦協定区域内通過事件に關す る我が方正式抗議文の發出および英國側の共 同委員会開催回避の意向について	満州国經濟發展のため鉄道建設材料供給など 援助の用意ある旨ボーランド領事申入れにつ いて	付記一 二月八日、関係各省係官協議決定 「日佛合辦滿洲投資會社ニ關スル措置振ノ件」	ドリル側財団と満鉄との間に満州国における 事業請負いを目的とした満州企業組合設立契 約成立について	国交断絶など事態急変の際の在留邦人引揚げ 措置につき意見具申
750	8	818	95	94	93	92

九	606	昭和8年3月18日	八七	在漢口清水總領事より 内田外務大臣宛(電報)	在留邦人に直接危害を加えず邦商に關係する 中國人を標的とする今回の排日運動の巧妙な 展開について	751
一	10	昭和8年3月21日	一八五	在南京上村總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	蔣介石と羅文幹の協議により決定された國民 政府の新外交方針に關する情報について	11
九	607	昭和8年3月23日	一九三	在南京上村總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	邦人雇用中國人を標的とした排日運動の悪化 に關し中國側關係当局に注意喚起について	752
五	330	昭和8年3月24日	重一機密合 二九八	内田外務大臣より 在濟南西田總領事 在青島坂根總領事)宛	膠濟鐵路國庫証券償還に充当する募債の担保 に關しては我が方の承認が必要の旨中國側へ 注意喚起方訓令	408
三	608	昭和8年3月24日	九五	在漢口清水總領事より 内田外務大臣宛(電報)	邦商・中國商間取引途絶の状況について	753
三	160	昭和8年3月25日	三〇三	在滿州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	出產税満鉄代徴承認の代償としての關稅率引 下げ要求をめぐる滿州国および關東軍との意 見交換について	198
三	223	昭和8年3月26日	一〇	在牛莊荒川領事より 内田外務大臣宛(電報)	付屬地外搬出煙草への滿州国統稅賦課に対す る我が方対応策意見具申	280
三	161	昭和8年3月27日	公機密 二五二	在滿州国武藤大使より 内田外務大臣宛	關東軍立案の本邦人滿州移民実施要綱案送付 について	199
五	331	昭和8年3月27日	機密四八	付記 五月二十三日付、拓務省作成 「滿洲移民實行ニ關スル件」	張店・索鎮間に膠濟鐵道支線完成の場合の邦 人に与える經濟的影響について	205
三	224	昭和8年3月28日	關機高 三六二三	林閣東庁警務局長より 有田外務次官他宛	滿州国課税の付屬地内外における不均衡を最 小限度に止めるよう奉天居留民会陳情について	280
九	609	昭和8年3月28日	一九六	在広東吉田總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	対日關係への配慮による日貨取扱者の死刑延 期について	753
九	610	昭和8年3月28日	一〇二	在福州守屋總領事より 内田外務大臣宛(電報)	公安局長主導による日貨排斥実施の風説とそ の影響について	754
二	72	昭和8年3月29日	二二五	内田外務大臣より 在滿州国武藤大使宛(電報)	台頭當における空爆事件など米国人伝道施設 に対する日本軍の軍事行動に關し実情調査方 訓令	96
九	611	昭和8年3月29日	一〇四	別電 三月二十九日發内田外務大臣より 右事件に關する在本邦米國大使の 覺書要領	在滿州国武藤大使宛第二二六号	96
九	612	昭和8年3月29日	公信三四八	在福州守屋總領事より 内田外務大臣宛(電報)	日貨排斥への省政府および公安局の関与につ いて	755
二	73	昭和8年3月30日	二二一	在上海石射總領事より 内田外務大臣宛	原産國標記条例を批判する新聞報道について	755
五	332	昭和8年3月30日	七三	内田外務大臣より 在滿州国武藤大使宛(電報)	滿州国旅券検査規則公布は非承認國人の入國 取締が目的との連合通信報道につき照會	97
二	74	昭和8年3月31日	三三五	内田外務大臣より 在滿州国武藤大使より	ベルギー實業家よりの汴洛(開封―洛陽)鐵道 利権譲渡方申入れに対し我が方による買収は 困難なる旨回答方訓令	411
三	162	昭和8年3月31日	二三三	付記 昭和七年十二月二十一日付在仏國栗山臨時代理大使より内田外務大臣宛公信機 密公第七三一号 右ベルギー實業家申入れについて	滿州国旅券検査規則非難の報道に關し同國政 府内の非承認國への感情について	411
九	613	昭和8年3月31日	一〇八	在滿州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	出產税満鉄代徴承認に際し關稅率引下げを交 換条件とはしないが適宜援用指導方訓令	98
四 月				在福州守屋總領事より 内田外務大臣宛(電報)	今次日貨排斥の裏面に關する林知淵の談話に ついて	206
						757

二	85	昭和8年4月12日	八二	在奉天中野総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	105
十	685	昭和8年4月11日	普通一六五	在青島坂根総領事より 内田外務大臣宛	839
三	165	昭和8年4月11日	三六七	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	209
二	84	昭和8年4月11日	三二二	在米出国出淵大使より 内田外務大臣宛(電報)	105
二	83	昭和8年4月11日	一八	内田外務大臣より 在サン・フランシスコ若杉総領事宛(電報)	104
二	82	昭和8年4月10日	七一	内田外務大臣より 在米出国出淵大使宛(電報)	104
三	164	昭和8年4月9日	三六〇	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	208
十	677	昭和8年4月8日	六三	内田外務大臣より 在上海石射総領事宛(電報)	824
九	615	昭和8年4月8日	一八	内田外務大臣より 在福州守屋総領事宛(電報)	758
三	225	昭和8年4月7日	三八	在チチハル内田領事より 内田外務大臣宛(電報)	283
三	163	昭和8年4月7日	三五二	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	207
二	81	昭和8年4月6日	三四七	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	102
二	80	昭和8年4月6日	一五五	在中國中山公使館一等書記官より 内田外務大臣宛(電報)	102
九	614	昭和8年4月5日	一一八	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	757
二	79	昭和8年4月5日	三四二	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	101
二	78	昭和8年4月5日	四八	内田外務大臣より 在中國中山公使館一等書記官宛(電報)	101
十	676	昭和8年4月(4)日	一二七	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)	823
二	77	昭和8年4月4日	二三九	内田外務大臣より 在満州国武藤大使宛(電報)	100
二	76	昭和8年4月3日	二六	在シカゴ武藤領事より 内田外務大臣宛(電報)	99
二	75	昭和8年4月1日	三三七	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	98

三	163	昭和8年4月7日	三五二	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	207
二	81	昭和8年4月6日	三四七	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	102
二	80	昭和8年4月6日	一五五	在中國中山公使館一等書記官より 内田外務大臣宛(電報)	102
九	614	昭和8年4月5日	一一八	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	757
二	79	昭和8年4月5日	三四二	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	101
二	78	昭和8年4月5日	四八	内田外務大臣より 在中國中山公使館一等書記官宛(電報)	101
十	676	昭和8年4月(4)日	一二七	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)	823
二	77	昭和8年4月4日	二三九	内田外務大臣より 在満州国武藤大使宛(電報)	100
二	76	昭和8年4月3日	二六	在シカゴ武藤領事より 内田外務大臣宛(電報)	99
二	75	昭和8年4月1日	三三七	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	98

八	八	三	八	九	九	三	二	十	一	九	九	二	十	一	二	八	二	九	八
532	531	166	530	620	619	226	89	705	12	618	617	88	704	11	87	529	86	616	528
昭和8年4月22日	昭和8年4月22日	昭和8年4月22日	昭和8年4月21日	昭和8年4月19日	昭和8年4月19日	昭和8年4月19日	昭和8年4月18日	昭和8年4月17日	昭和8年4月17日	昭和8年4月16日	昭和8年4月16日	昭和8年4月16日	昭和8年4月15日	昭和8年4月15日	昭和8年4月14日	昭和8年4月13日	昭和8年4月13日	昭和8年4月12日	昭和8年4月12日
二二九	二二八	四一九	二二六	一五二〇	一三六	四〇六	一〇九	二〇二	一二四	一三五	一三四	二九九	二四二	二〇一	一六五	一九九	機密公 二五三	一九七	三八一
内田外務大臣宛(電報)	在中国堀内臨時代理公使より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在中国堀内臨時代理公使より 内田外務大臣宛(電報)	鈴木青島日本商工会議所会頭より 内田外務大臣宛	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在ニューヨーク堀内総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在中国堀内公使館一等書記官より 内田外務大臣宛(電報)	在済南西田総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣より 在満州国武藤大使宛(電報)	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在中国堀内臨時代理公使より 内田外務大臣宛(電報)	在中国中山公使館一等書記官より 内田外務大臣宛(電報)	在中国堀内臨時代理公使より 内田外務大臣宛(電報)	在仏国長岡大使より 内田外務大臣宛	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)
関税率引上げおよびダンピング税導入問題について	関税率の一般的引上げは宋子文帰国後に決定との関務署長談話について	満州国財政部における関税改正案完成について	付記 四月、作成局課不明 「日支關稅協定品目ニ關スル説明」	原産国標記条例の撤廃交渉方請願について	満州国課税および警察法令服従義務は開放地を除く土地商租を取得し得る全地域に適用すべきとの見解につき意見回示方稟請	省主席と面会し得ず林知淵に日貨排斥に關し抗議申入れについて	前米国國務次官講演に關する報道の反響および満州国門戸開放問題が国際經濟會議予備交渉の議題となるとの米国紙報道について	米中航空協定調印の真否疑問につき同協定要旨の取扱注意について	米中航空協定不成立に關する情報について	米中航空協定調印の真否疑問につき同協定要旨の取扱注意について	公安局による運搬日貨押収事件発生について	日貨排斥への抗議申入れは蔣光祿福建省主席の会見回避により実施困難な状況について	内政上の諸要因により蔣介石は抗日よりも共產党勢力討伐を優先するとの姚以价などの観測について	英国船員拉致事件に対し満州国対外信用発揚のため同国の適切な措置につき指導協力方訓令	仮調印を完了したとされる米中航空協定要旨について	我が方の対中国政策を非難した汪兆銘行政院長の新聞記者への談話について	遼河河口での海賊による英国船員拉致事件解決への我が方尽力方につき英国公使要請について	満州国による中国向け貨物証明書の継続を希望する理由について	仏国において我が方啓発活動に従事する經濟記者リオティより同国經濟發展國民協會會長を満州国顧問に推薦の書簡転達について
672	671	209	670	763	762	284	109	862	863	761	760	109	859	12	108	669	105	760	668

二	二	五	九	三	二	三	二	九	二	二	五		二	二	三	二	三	三	二	九	九	八	
99	98	334	624	230	97	229	96	623	95	94	333		93	92	228		91	227	167	90	622	621	533
昭和8年5月10日	昭和8年5月10日	昭和8年5月8日	昭和8年5月6日	昭和8年5月6日	昭和8年5月5日	昭和8年5月4日	昭和8年5月4日	昭和8年5月3日	昭和8年5月3日	昭和8年5月3日	昭和8年5月2日		昭和8年5月2日	昭和8年5月2日	昭和8年5月1日		昭和8年4月30日	昭和8年4月29日	昭和8年4月26日	昭和8年4月26日	昭和8年4月22日	昭和8年4月22日	昭和8年4月22日
四九三	二六一	一九六	一四八	四七〇	四一九	二八一	一九七	一四〇	四二二	四五六	二二三		四四八	通二普通合 四七〇	三五一		二七四	一〇五	五〇	三八六	二二七	一四二	四二〇
在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在天津桑島総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在中国中山公使館一等書記官より 内田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在米国出淵大使より 内田外務大臣宛(電報)	在ハルビン森島総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在英国松平大使より 内田外務大臣宛(電報)	在漢口清水総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在米国出淵大使より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)		在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣より 在米国外務大臣宛(電報)	付記 作成日、作成局課不明 一満洲國ニ於ケル治外法權撤廢ニ 關スル指導方針案」	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	五月 在ハルビン森島総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在奉天峰谷総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在チチハル内田領事より 内田外務大臣宛(電報)	在米国出淵大使より 内田外務大臣宛(電報)	在中国堀内臨時代理公使より 内田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)
英国商社満州国引揚げの米国紙報道に對する 反駁要領について	英国商社満州国引揚げの米国紙報道に關し通 信員に差別的待遇は誤解の旨説明について	仏国財團の鐵道材料供給借款は対象鐵道が不 特定のため我が方既得の滄石鐵道借款契約に 抵触せずと同財團關係者談話について	日貨排斥に關し省主席に抗議申入れについて	満州国警察法令服從義務を開放地にも適用す べき旨意見具申	国内旅行制限など満州国の差別的待遇により 英国商社同国引揚げとの米国紙報道について	満州国の綿布糸・麥粉・セメント統稅の納付 はやむを得ない旨邦人当業者に對し説論につ いて	英国下院での駒井声明問題質疑状況などにつ いて	排日団の暴力行為に對する警備司令部の嚴重 取締振りにについて	満州国の門戸開放主義遵守を有田次官に確認 の旨米国國務省発表について	駒井声明を取消す満州国外交部声明について	中国鐵道部と仏國財團間に正太鐵道收入を担 保とする鐵道材料供給借款成立の情報について		満州国における外國商人の現状に關する説明 資料送付について	満州国課税および警察法令服從義務の適用範 圍につき大使館の見解承認ならびに適用内容 に關する具體的方針案について	満州国課税および警察法令服從義務の適用範 圍につき大使館の見解承認ならびに適用内容 に關する具體的方針案について	満州国課税および警察法令服從義務の適用範 圍につき大使館の見解承認ならびに適用内容 に關する具體的方針案について	満州国課税および警察法令服從義務の適用範 圍につき大使館の見解承認ならびに適用内容 に關する具體的方針案について	満州国課税および警察法令服從義務の適用範 圍につき大使館の見解承認ならびに適用内容 に關する具體的方針案について	満州国課税および警察法令服從義務の適用範 圍につき大使館の見解承認ならびに適用内容 に關する具體的方針案について	満州国課税および警察法令服從義務の適用範 圍につき大使館の見解承認ならびに適用内容 に關する具體的方針案について	満州国課税および警察法令服從義務の適用範 圍につき大使館の見解承認ならびに適用内容 に關する具體的方針案について	日貨排斥への省政府対応改善の兆候について	行政院など關係当局に對し排日運動に關し注 意喚起について
122	121	414	768	289	121	289	120	766	119	119	413		118	111	287	285	111	285	211	110	765	764	673

日付索引																						
八	二	三	八	四	三	二	八	三	八	八		八	二	九	八	一	三	二	二	八	三	三
541	104	171	540	254	170	103	539	169	538	537		536	102	625	535	13	232	101	100	534	168	231
昭和8年5月26日	昭和8年5月26日	昭和8年5月25日	昭和8年5月24日	昭和8年5月24日	昭和8年5月24日	昭和8年5月24日	昭和8年5月23日	昭和8年5月23日	昭和8年5月22日	昭和8年5月22日		昭和8年5月22日	昭和8年5月22日	昭和8年5月19日	昭和8年5月18日	昭和8年5月17日	昭和8年5月16日	昭和8年5月16日	昭和8年5月15日	昭和8年5月13日	昭和8年5月12日	昭和8年5月11日
商五三	五六六	五五六	商五二	二二七	一一二	一三六	商五一	四一〇	商五〇	二八四		一九八	五三八	一五六	二八四	二六八	一三九	一〇六	一三七	一八九	五〇三	三八四
内田外務大臣宛(電報)	在上海上谷商務参事官事務所 事務代理より	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在中国中山公使館一等書記官より 内田外務大臣宛(電報)	武藤閣東長官より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣宛(電報)	在上海上谷商務参事官事務所 事務代理より	在満州国武藤大使宛(電報)	在上海上谷商務参事官事務所 事務代理より	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)		在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在奉天峰谷総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在仏国長岡大使宛(電報)	在奉天峰谷総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)
中国新関税に対する当地邦人綿布商団体の反対決議について	石井国際経済会議全権携帯資料中の満州国税率均霑問題に関する解釈をめぐり意見具申	安東駐在の満州国査証官による朝鮮鉄道車中の検査事務執行承認方同国要請について	本邦以外の諸国の主な輸入品に対する中国関税率について	要領について	中国側の対日態度は正に関する黄郛との会談	大連などに駐在の満州国査証官による船中、埠頭および満鉄線車中での検査事務執行承認方同国要請について	率均霑問題に関する解釈について	石井国際経済会議全権携帯資料中の満州国税率均霑問題に関する解釈について	本邦よりの輸入綿製品に対する中国関税率引上げとその影響について	本邦よりの主な輸入品に対する中国新関税率について	満州国における邦人旅行者の護照不要化の適否に関し見解回示について	中国新関税率の実施は関税休戦決議および日中関係改善の観点より問題ありとするデイリーストリス社説について	中国における新輸入関税法の実施について	石井国際経済会議全権携帯の満州国門戸開放主義に関する説明資料中の最恵国税率均霑問題への疑義について	省主席は日貨排斥を徐々に緩和する方針との林知淵観測内話について	日中関税協定満了に伴う税率引上げ断行論の高まりに関する関務署長内話について	日本軍による蔣介石打倒は共産党勢力拡大を意味するため蔣を利用して同勢力討伐を図る方が日本にとり得策との陳彬蘇見解について	開放地を含め一律に適用すべき課税税目および警察法規を研究する委員会ならびに付属地内外格差是正のための特別市制設置方意見具申	対満投資を希望する仏国モバン社の満州企業組合への参加問題に対するドリル意向について	満州国側におけるニールセン急速救出の困難なる事情を米国領事に説明について	日中関税協定満了に伴い従来の免税品にも付加税を賦課するとの海関告示について	満州国における邦人旅行者の護照不要化の適否に関し意見回示方稟請
679	126	214	678	315	213	126	677	212	675	675		674	125	769	674	14	291	124	124	673	211	290

六	六	十	十	八	八	二	九	八	九	八	四	九	四	三	二	一	八	四	十			
376	375	707	706	546	545	106	628	544	627	543	257	626	256	172	105	14	542	255	678			
昭和8年6月7日	昭和8年6月5日	昭和8年6月3日	昭和8年6月2日	昭和8年6月1日	昭和8年6月1日	昭和8年6月1日	昭和8年5月31日	昭和8年5月31日	昭和8年5月30日	昭和8年5月30日	昭和8年5月30日	昭和8年5月29日	昭和8年5月29日	昭和8年5月29日	昭和8年5月29日	昭和8年5月28日	昭和8年5月27日	昭和8年5月27日	昭和8年5月20日			
三二四	五三九	機密三三八	機密三三七	三〇六	三〇五	二五四	機密三〇五	九七	三〇五	三〇六	二九八	三〇三	八一	一〇	一一〇	一五八	二九八	五六七	二二三			
在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在米出国大使より 内田外務大臣宛(電報)	在厦門塚本領事より 内田外務大臣宛	在厦門塚本領事より 内田外務大臣宛	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在仏国長岡大使より 内田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛	内田外務大臣より 在中国有吉公使宛(電報)	在南京日高総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣より 在中國中山公使館一等書記官宛(電報)	武藤閣東長官宛(電報)	内田外務大臣より 在仏国長岡大使宛(電報)	内田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)			
米中棉表借款に関する中国紙報道について	花および小麦の信用取引契約調印について	十九路軍と米国の接触振りなどに関する情報について	漳電(漳州)電(電) 鉄道建設計画をめぐる米国の動向について	中国新聞税への我が方抗議に対し宋子文棉国まで税率緩和は困難との閣務署長談話について	ダンピング税の急速実施は差止められるとの閣務署長内話について	ドル側財団の組合幹部構成をめぐる内紛およびモバパン社参加問題に関するインドシナ銀行重役の談話について	広東派勢力が省政府を掌握している限り日貨排斥の緩和は困難との見解について	中国新聞税実施に関し外交部および行政院に抗議申入れについて	原産国標記条例修正の経緯について	中国新聞税実施の経緯に関する英国公使館参事官および彭学沛の内話について	対日妥協に断固反対の宋子文意向に関しソコルスキー談話について	満州企業組合設立に関するドル側準備状況調査方訓令	大連などに駐在の満州国査証官による船中、埠頭および満鉄線車中での検査事務執行承認について	華北における停戦協定と並行して取極めるべき政治的事項の大綱について	在中國中山公使館一等書記官宛第八二号	原産国標記条例の修正公布について	馮玉祥の反蔣抗日通電は大局に格別影響ないと天津方面観測について	北寧鉄道の満州国側管理に関する関東軍意向について	中国軍の上海停戦協定区域内通過事件に関ししばらく事態を静観することで派遣艦隊長官と意見一致について			
500	499	865	863	683	683	128	771	682	770	681	320	770	320	318	214	128	15	680	318	317	316	824

[illegible]

六	377	昭和8年6月7日	普通二六八	在シアトル内山領事より 内田外務大臣宛	棉麦借款の内容および問題点に関する新聞報道について	501
六	378	昭和8年6月8日	三二五	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	棉麦借款の成立は蔣・宋連立政府安定に資するとの陳彬蘇の内話について	503
一	15	昭和8年6月9日	三二六	在南京日高総領事より 内田外務大臣宛(電報)	羅外交部長は長くその地位に留まる意向なしとの観測について	16
八	547	昭和8年6月9日	三二五	在南京日高総領事より 内田外務大臣宛(電報)	中国新関税の本邦商品に対する差別的待遇に 関し汪兆銘に抗議申入れについて	684
二	107	昭和8年6月10日	四七七	内田外務大臣より 在満州国武藤大使宛(電報)	ニールセン急速救出のため我が方尽力方米国 政府要請について	129
八	548	昭和8年6月10日	函産商 四〇〇	坂本函館市長より 内田外務大臣宛	中国新関税の水産物への著しい増率に鑑み互 恵的関税協定締結方陳情について	686
四	258	昭和8年6月11日	三一五	在天津桑島総領事より 内田外務大臣宛(電報)	北寧鉄道全面復旧への障害である李際春軍改 編問題の行悩みについて	321
四	259	昭和8年6月12日	三二九	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	山海関における中国側海関行政への日本軍の 妨害に関しメーズ総稅務司注意喚起について	321
九	629	昭和8年6月12日	二一	内田外務大臣より 在南京日高総領事宛(電報)	原産国標記条例に関し英仏文字の使用を認め 実施も延期するよう交渉方訓令	773

十	二	十	八	六	十	五	五	四		十	八	四	二	十	十	十	四	二	十				
731	111	746	550	380	745	337	336	264		690	549	263	110	744	743	689	262	109	688				
昭和8年6月26日	昭和8年6月26日	昭和8年6月24日	昭和8年6月24日	昭和8年6月24日	昭和8年6月23日	昭和8年6月23日	昭和8年6月23日	昭和8年6月23日		昭和8年6月22日	昭和8年6月22日	昭和8年6月22日	昭和8年6月22日	昭和8年6月21日	昭和8年6月21日	昭和8年6月21日	昭和8年6月21日	昭和8年6月21日	昭和8年6月20日				
九六	二八九	三三一	二四九	一六一	二二	普通三四六	九四	六七一		三五九	三五六	三三三	五八六	三二四	三二三	郵合一	三二八	公機密 五七二	機密 三四				
在青島坂根總領事より 内田外務大臣宛(電報)	在仏国長岡大使より 内田外務大臣宛(電報)	在広東吉田總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在上海石射總領事より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣より 在英国松平大使宛(電報)	内田外務大臣より 在広東吉田總領事代理宛(電報)	在南京日高總領事より 内田外務大臣宛	在青島坂根總領事より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)		在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在天津桑島總領事より 内田外務大臣宛(電報)	在米出国洲大使より 内田外務大臣宛(電報)	在広東吉田總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在広東吉田總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在芝罘山崎領事より 内田外務大臣宛(電報)	在天津桑島總領事より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛	在芝罘山崎領事より 内田外務大臣宛				
付記 六月二十九日付、亜細亞局第三課作成 「哈爾濱市水道計劃ニ關スル件」				別電 六月二十四日発内田外務大臣より 在英国松平大使宛 第一六二号	別電 六月二十三日発内田外務大臣より 在広東吉田總領事代理宛 第二一号				付記 六月二十七日発武藤関東長官より 輸出入手続きに不備がない昌源丸の即時釈放を中国側に要求方有吉公使宛依頼 について					付記 四月三十日発在広東吉田總領事代理より 右策動の概要について									
沈鴻烈東北艦隊司令兼青島市長に對する部下 將校による暗殺未遂事件發生について	仏国對滿投資問題は我が方連盟脱退後政治的 で相手としない方針について	鮑觀澄の行動は香港限りとし広東は絶対に訪 問しないよう陸軍側に申入れ方稟請	本邦主要商品の商況における中国關稅率改訂 の影響について	棉麥借款に關するアデイス見解に對し横浜正 金銀行に我が方意見回答振り指示について	和知武官による鮑觀澄前満州国駐日代表の広 東方面派遣に關し陸軍側に注意喚起および同 省より同武官に對し行動自重方訓令について	道清鐵道(道口―清化鎮)の濟南への延長問題 などに関する同鐵路管理局長の新聞談話につ いて	青島市政府および膠濟鐵路局の對日態度なら びに青島居留民団への指導対策について	日本軍の山海關稅關事務阻止問題に關し同地 を版圖内とする満州国側見解について		抑留中の昌源丸を解放すべき旨メーズ總稅務 司に申入れについて	商務官による中国新旧輸入稅率國別比較表の 作成について	山海關での日本軍による中国側稅關事務阻止 の根拠に關する関東軍見解について	昭和製鋼所の外國製品購入に關し宣伝的効果 の観点から米國商への配慮方意見具申	留東学会の名前を利用した和知武官の策動は 同会による日中關係改善計畫に惡影響を及ぼ すため同武官の自重要望を陸軍省に申入れ方 稟請	和知駐在武官の策動による「帰國華僑旅行宣 伝總隊」の実体について	昌源丸抑留に關し芝罘稅關長より罰金徴収に 同意方要請について	黄郭の抱える諸問題に關し王揖唐内話について	電口海關により抑留された昌源丸の釈放を芝 罘稅關長に要求について					
898	137	135	913	687	506	505	913	912	417	416	328	843	842	687	327	135	912	910	909	841	325	130	840

十	十	十	十	十	八	四	四	一	四	四	四	一	四	四	三	三	一	八	四	三	十												
747	734	733	709	708	552	272	271	20	270	269	268	19	267	266	233	175	18	551	265	174	732												
昭和8年6月30日	昭和8年6月30日	昭和8年6月30日	昭和8年6月30日	昭和8年6月30日	昭和8年6月30日	昭和8年6月30日	昭和8年6月30日	昭和8年6月30日	昭和8年6月29日	昭和8年6月29日	昭和8年6月29日	昭和8年6月29日	昭和8年6月28日	昭和8年6月28日	昭和8年6月28日	昭和8年6月28日	昭和8年6月28日	昭和8年6月27日	昭和8年6月27日	昭和8年6月27日	昭和8年6月26日												
三三六	三四八	一〇五	一九七	一九六	三八〇	三四八	三四五	一二二	三七八	三七五	一二〇	三七七	二七九	三四二	二三	六八八	三七〇	公三三七	三六四	二二七	九八												
在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在青島坂根総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在天津桑島総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在天津桑島総領事より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣より 在中国有吉公使宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣より 在中国有吉公使宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在中国中山公使館一等書記官より 内田外務大臣宛(電報)	在天津桑島総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在赤峰清野領事より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	付記 四月五日付在満州国武藤大使より 満州国関税審査会設置に関する満州国 内田外務大臣宛(電報)	在奉天峰谷総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在青島坂根総領事より 内田外務大臣宛(電報)												
満州国国境線は長城線であり山海関は満州国 領域外との政府見解について	華北政局安定のため李際春軍改編問題解決が 急務の旨意見具申	日本軍の山海関税関事務阻止問題に關し政治 問題化を避けるため慎重対処方意見具申	宋子文帰国後の抗日活動抑制および張学良の 帰国阻止のため国民政府要人へ我が方意向に つき注意喚起方訓令	唐山までの北寧線復旧に關し天津軍は各国に よる共同警護案を提出の意向について	李際春軍改編問題につき關東軍の仲介により 中国側と李との直接交渉開始決定について	中国側の新関税率見直しの動きについて	漳竜鉄道建設計画への対応振り回示方稟請 の情報について	福建省海軍側へ米国が武器を供与していると の情報について	青島脱走三艦の営口または葫蘆島遁入の場合 の我が方措置振りにつき沈鴻烈の艦隊司令官よ び市長辭職願いを聴許との情報について	館員を香港に派遣し鮑觀澄に広東訪問を避け るよう海軍武官とともに勧告の予定について	沈鴻烈暗殺未遂事件に關連して青島停泊中の 東北艦隊三艦が無断出港について	満州国輸入関税問題に關する官民懇談会の審 議状況について	満州国国境線および日本軍の山海関税関事務 阻止問題に対する政府方針回示方稟請	中国輸入税率改訂の目的は歳入増加にあると の英国商業會議所月報の論評について	中国は外国借款で交通などの開発計画を進め る日本に對抗する決意とのライヒマン発言に關 しアーベンド内報について	敦図線開通に伴う国境通関問題に關し朝鮮税 関官吏の満州国内出張検査を規定する協約締 結方満州国政府提議について	熱河省税務当局の輪移入貨物への落地税賦課 意向に対する措置振りにつき在承德副領事請 訓について	別電 六月二十八日発在赤峰清野領事より内田外務大臣宛第二四号 右在承德副領事請訓	北寧・奉山兩鐵道連絡問題の急速解決を一般 外国人要望について	黄郭らの華北における微弱な親日的勢力支援 のため關東軍兵力増強方意見具申	日本に対する不信は中国識者間に一般的との 張公權談話について	292	329	330	21	292	218	20	688	328	216	215	898

十	710	昭和8年7月6日	二四	付記 作成日不明、亜細亜局第一課作成 「福建ニ於ケル米國側策動阻止策及其ノ條約上ノ根據」	872
四	275	昭和8年7月6日	七二三	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛（電報）	337
三	177	昭和8年7月5日	七二三	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛（電報）	222
十	739	昭和8年7月4日	一九九	在濟南西田総領事より 内田外務大臣宛（電報）	905
三	176	昭和8年7月4日	二七	在牛莊荒川領事より 内田外務大臣宛（電報）	219
十	738	昭和8年7月3日	一九六	在濟南西田総領事より 内田外務大臣宛（電報）	904
十	737	昭和8年7月3日	二八六	在中国中山公使館一等書記官より 内田外務大臣宛（電報）	903
十	736	昭和8年7月3日	一〇七	内田外務大臣より 在中国中山公使館一等書記官宛（電報）	901
九	632	昭和8年7月3日	二八七	在中國中山公使館一等書記官より 内田外務大臣宛（電報）	776
四	274	昭和8年7月3日	三八五	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛（電報）	336
四	273	昭和8年7月3日	三五一	在天津桑島総領事より 内田外務大臣宛（電報）	335
三	234	昭和8年7月3日	七〇五	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛（電報）	293
二	112	昭和8年7月3日	五四四	内田外務大臣より 在満州国武藤大使宛（電報）	138
十	748	昭和8年7月2日	三三八	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛（電報）	915
十	735	昭和8年7月1日	一〇五	内田外務大臣より 在中国中山公使館一等書記官宛（電報）	901
九	631	昭和8年7月1日	三八一	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛（電報）	775
八	553	昭和8年7月1日	三八二	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛（電報）	690
七月				中国側の新関税率見直し審議は我が方の抗議 とは無関係との情報について 黄郭の党部ならびに排日団体に対する態度な ど注視方北平および天津に指示について 沈鴻烈の市長辞職が日中関係に悪影響を及ぼ さぬよう黄郭に尽力要請方訓令 香港における鮑觀澄と当館館員との会談内容 について 満州国石油輸入関税率の区分方法に差別的待 き事情調査方訓令 熱河省税務当局の輪移入貨物への落地税賦課 意向に關し税率等査報方承徳副領事に訓令 について 北寧線復旧運行を支援するため天津軍は唐山 まで警乗実施の意向について 宋子文帰国による反対勢力激化を懸念し我が 方援助増進方を黄郭切望との許卓然内話につ いて 袁良北平市長に排日行為取締を要求について 我が方海軍側意向に鑑み東北艦隊への排日分 子の進入阻止などを黄郭に要望方訓令 東北艦隊処理に關する海軍側方針について	902

六	十	十	十	八	一	六	三	一	十	九	二	
381	750	749	692	556	25	416	236	24	740	633	114	
昭和8年7月13日	昭和8年7月12日	昭和8年7月12日	昭和8年7月12日	昭和8年7月12日	昭和8年7月12日	昭和8年7月11日	昭和8年7月11日	昭和8年7月11日	昭和8年7月10日	昭和8年7月10日	昭和8年7月10日	
三八七	九一	三五五	機密二五九	二五九	四〇七	一八一	七三九	四〇六	合二一九	二〇一	七三四	
内田外務大臣宛(電報)	在香港蘆野総領事代理より	在広東吉田総領事代理より	在芝罘山崎領事より	内田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より	内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より	内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣より	在福州守屋総領事より	在満州国武藤大使より	
正金ロンドン支店長よりアデイスに対し棉麦借款の問題点を指摘について	鮑觀澄香港訪問の目的達成はほぼ不可能の状況について	香港での鮑觀澄との会談内容について	税関長よりの関東庁による密輸厳重取締方要請および邦人当業者に港則周知方意見具申	中国新関税率実施後三カ月以内に保税倉庫より倉出の貨物には旧税率適用について	関税問題および宋子文の活動などに対する我が方意向を張群に申入れについて	視方訓令	満蒙毛織会社製品の付属地内消費分への満州国課税当面差控について	宋子文の英国における借款活動につき嚴重監視方訓令	日中関係改善には満州問題に関し日本側の譲歩が必要などとの呉鉄城談話について	日貨排斥の現状ならびに軍艦五十鈴艦長の省主席往訪について	満州国石油輸入関税率の区分方法について	
507	918	916	844	696	29	550	295	28	906	777	139	

一	21	昭和8年7月7日	一二八	内田外務大臣より 在中国有吉公使宛(電報)	排日活動停止および新関税率の見直しなど対日態度転換に関する具体的要望につき汪兆銘に申入れ方訓令	22
一	22	昭和8年7月7日	三九五	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	宋子文帰国後の抗日活動抑制および張学良の帰国阻止に関する我が方意向を唐有壬に申入れについて	25
一	23	昭和8年7月7日	三九七	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	宋子文の抗日活動および中国国内の反日感情に關しパドウ国民政府顧問警告について	26
二	113	昭和8年7月7日	三七	内田外務大臣より 在スウェーデン山口公使館事務取扱宛(電報)	ニールセン救出への我が方尽力方につき在本邦デンマーク代理公使要請について	138
五	338	昭和8年7月7日	公二四九	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛	海州築港および隴海鐵道支線建設計画に関する同鐵路工務処長の新聞談話について	419
八	554	昭和8年7月7日	三九四	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	中国新関税に關し彭学沛および唐有壬に我が方主張を申入れについて	690
三	235	昭和8年7月8日	二五〇	在奉天峰谷総領事より 内田外務大臣宛(電報)	滿蒙毛織会社製品の付属地内消費分への突然の満州国課税実施通告について	294
六	415	昭和8年7月8日	三九九	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	宋子文とロンドン銀行団との借款交渉に関する英字紙の否定的論評について	549
八	555	昭和8年7月8日	機密公 二五〇	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛	中国新関税率の不当を批判する我が方説明書送付について	692
十	691	昭和8年7月8日	二八	在芝罘山崎領事より 内田外務大臣宛(電報)	昌源丸抑留事件は罰金支払いで解決の見込みについて	844
				付記 七月十五日発在芝罘山崎領事より内田外務大臣宛電報第三〇号 昌源丸は罰金支払いの上解放について		844
						844

六	三	三	五	五	三	六	四	十	六	六	十	六	十	十	八	六	六		
423	180	179	340	339	178	422	276	742	421	420	751	419	741	693	557	418	417		
昭和8年7月19日	昭和8年7月19日	昭和8年7月19日	昭和8年7月17日	昭和8年7月17日	昭和8年7月17日	昭和8年7月16日	昭和8年7月16日	昭和8年7月15日	昭和8年7月15日	昭和8年7月15日	昭和8年7月14日	昭和8年7月14日	昭和8年7月13日	昭和8年7月13日	昭和8年7月13日	昭和8年7月13日	昭和8年7月13日		
四〇二	七七六	七七二	亜一機密合 八二二	合一三八三	四三二	四一一	三〇二	一二三	三九八	一八九	三五八	三九六	四〇九	二九	三六八	三九〇	三八八		
在英国松平大使より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣より 在中国有吉公使、在南京日高総領事他宛 書記官、在南京日高総領事他宛	内田外務大臣より 在中国有吉公使、在中國中山公使館一等 書記官、在濟南西田総領事他宛(電報)	在ハルビン森島総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在中國中山公使館一等書記官より 内田外務大臣宛(電報)	在青島坂根総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在英国松平大使より 内田外務大臣宛(電報)	別電 七月十五日発内田外務大臣より在英国松平大使より在英國松平大使宛第一九〇号 列国の対中国財政的援助および右委員會計画に關する我が方見解	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	付記 七月十六日付在英国松平大使より内田外務大臣宛公信機密第二七六号 右ラモント覚書送付について	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在芝罘山崎領事より 内田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在英国松平大使より 内田外務大臣宛(電報)	在英国松平大使より 内田外務大臣宛(電報)		
宋子文の財政諮問委員會提案に關し日本の参 加しない中国への援助案には無関心たり得ず とラモントへ申入れについて	満州国関稅改正實施案の公布時期について	満州国関稅改正實施案轉達について	最近の日中關係好転および華北政局安定に鑑 み汴洛鐵道利權讓渡申入れへの対応振り再検 討の意向について	昭和四年滄石鐵道借款契約の復活ないし新契 約締結のため中国側と交渉開始方訓令	ハルビンにおける阿片密売が専売制度に及ぼ す悪影響およびその対応策について	宋子文による英・伊両国での借款活動および 帰国後の宋子文の發言權増加の見通しなどに 關する情報について	宋子文の財政諮問委員會の旧東北系文武官僚の動向なら びに華北政況安定のための必要資金などに關 する黄郭への質疑について	市長留任が確定的となった沈鴻烈を激勵につ いて	宋子文の財政諮問委員會成立阻止につき 尽力方訓令	和知武官への多額の送金を満州国事情啓発へ 流用誘導方意見具申	沈鴻烈辭職問題が日中關係に悪影響を及ぼさ ぬよう張群に注意喚起について	財政諮問委員會計画についての宋子文との意 見交換に關するラモント覚書について	電口方面における海關監視船と本邦漁船との 抗争事件について	中国新關稅率實施後三カ月以内の倉出貨物へ の旧稅率適用は英國側運動の結果によるとの 英國公使館參事官の内話について	英國における宋子文の活動に關し英國外務次 官補に注意喚起について	宋子文による財政諮問委員會設立計画に關し ラモント内報について			
565	226	224	422	420	223	563	342	907	562	560	560	919	556	555	907	845	696	554	551

3435

三	三	八	八	四	三	一	十	六	四		三	六	八	六	六	六	三	六	十
238	184	563	562	279	183	28	713	432	278		182	431	561	430	429	428	181	383	712
昭和8年8月4日	昭和8年8月4日	昭和8年8月3日	昭和8年8月3日	昭和8年8月3日	昭和8年8月3日	昭和8年8月3日	昭和8年8月2日	昭和8年8月2日	昭和8年8月(1)日		昭和8年8月1日	昭和8年7月31日	昭和8年7月29日	昭和8年7月29日	昭和8年7月29日	昭和8年7月28日	昭和8年7月28日	昭和8年7月27日	昭和8年7月26日
八五七	六六〇	四四八	四四六	一三〇	八五五	四四七	三八三	四四三	三八四		八四七	四三四	三八一	一六一	四三一	一三六	八三一	一九二	六四一
在満州国栗原臨時代理大使より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣より 在満州国栗原臨時代理大使宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣より 在天津田中総領事代理宛(電報)	在満州国栗原臨時代理大使より 内田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在英国松平大使より 内田外務大臣宛(電報)	在天津田中総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)		在満州国栗原臨時代理大使より 内田外務大臣宛(電報)	在英国松平大使より 内田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在独国外務大臣宛(電報)	在独国外務大臣宛(電報)	内田外務大臣より 在中国有吉公使宛(電報)	在満州国栗原臨時代理大使より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣より 在米出国洲大使宛(電報)	在米出国洲大使より 内田外務大臣宛(電報)
付記 作成日、作成局課不明 一満洲國ノ阿片及麻薬取締、官吏ノ濫職等ニ關シ日滿兩國間ニ協定締結方ノ件																			
チチハル在留邦人への統税納税指導方同地領事宛訓令について	復州湾開港承認問題に關し一般外国貿易への不開放を条件に税関出張所設置承認方同訓令について	中国新関税率の緩和方を手配中との汪兆銘内話について	中国新関税率緩和の方に関する我が方申入れに對し改訂は中国側が自主的に行う建前との彭学沛説明について	中国側の治安維持措置の遅延に對する懸念および唐山駐屯部隊引揚に關する關東軍意向について	敦図線国境通関問題への対処方意見具申	各国資本家により組織される借款団からの借款は絶対に不可など蘆山會議決定の外交方針に關し汪兆銘内話について	福建省での米國諸活動説に關する我が方注意喚起に對し在中國米國參事官否定について	北寧・奉山兩鐵道連絡實現のため唐山駐屯部隊引揚など關東軍の好意的援助方錢宗沢北寧鐵路局長要望について	財政諮問委員会計画に不参加の旨アデイスよりラザール商会キングスレー宛書簡要旨について	北寧・奉山兩鐵道連絡實現のため唐山駐屯部隊引揚など關東軍の好意的援助方錢宗沢北寧鐵路局長要望について	満州国における阿片密売徹底取締方に關する關係者協議の決定事項について								
296	230	700	699	346	229	37	875	579	345	228	227	579	699	577	576	574	226	510	875

十	714	昭和8年8月4日	四五二	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	米国の中国航空事業開発に関するソーニヒル 元英国公使館付武官の談話について	876
十	752	昭和8年8月4日	一〇三	在香港蘆野総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	鮑觀澄香港出発について	920
六	433	昭和8年8月5日	五七	付 記 七月十九日発在広東和知駐在武官より植田参謀次長宛電報広第五三一号 鮑觀澄と李宗仁の会谈実現について		920
十	753	昭和8年8月5日	一〇四	在香港蘆野総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	対中国財政的援助問題などに関し仏国外相な どとの会見の際に注意すべき点につき石井ロ ンドン国際経済会議全権より請訓	580
十	754	昭和8年8月5日	三八一	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	鮑觀澄は香港において何ら目的を果たせず出 発について	921
四	280	昭和8年8月(7)日	三九三	在天津田中総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	今後満州国側において中国側との提携工作を 計画の場合は我が方外務省に相談するよう鮑 觀澄に注意喚起について	922
四	281	昭和8年8月7日	三二六	在中国中山公使館一等書記官より 内田外務大臣宛(電報)	満州国側は北寧・奉山両鉄道連絡問題を承認 問題と関連させる内意ありとの北寧鉄路局長 内話について	347
一	29	昭和8年8月8日	三九四	在南京日高総領事より 内田外務大臣宛(電報)	馮玉祥問題解決に関する李振一の内話について	347
三	185	昭和8年8月8日	公機密 七四三	在満州国栗原臨時代理大使より 内田外務大臣宛	關東州内における国幣発行制限撤廃方満州国 外交部要請および関東庁の反対について	231
六	434	昭和8年8月8日	一七〇	内田外務大臣より 在仏国長岡大使宛(電報)	盧山會議の結果に関する汪兆銘報告演説につ いて	39
六	435	昭和8年8月8日	二二〇	内田外務大臣より 在英国松平大使宛(電報)	八月十五日発在中国栗山公使館付武官補佐官より植田参謀次長宛電報北第八一一号 李守信軍の多倫占領に対し何応欽抗議について	349
六	384	昭和8年8月9日	商機密 一九六	在上海岩井大使館商務参事官代理より 内田外務大臣宛	多倫撤退に当り日満軍が同地に進出しないうよう馮玉祥要望について	348
九	634	昭和8年8月9日	四六一	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	起方石井全権へ回訓	348
九	635	昭和8年8月9日	四〇〇	付 記 八月十八日付通商局第二課起案高裁案 「日清汽船ノ長江航路維持金ニ関スル件」	財政諮問委員会計画は不成立の形勢にあるも ラモントおよびアデイスに対し我が方主張の 徹底方訓令	581
六	437	昭和8年8月10日	六六三	在米国外務大臣宛(電報)	日本を無視した対中国援助は同国延いては東 洋の安定に逆行する旨仏国外相などに注意喚 起	582
六	436	昭和8年8月10日	一七三	在仏国外務大臣宛(電報)	棉麦借款による棉花の売出しと邦商買付の状 況について	511
四	282	昭和8年8月10日	三三〇	在中国中山公使館一等書記官より 内田外務大臣宛(電報)	日清汽船の長江航路維持のため国庫補助を考 慮方要請について	778
九	635	昭和8年8月9日	四〇〇	在天津田中総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	反日会による日貨抑留事件に関し駐平政務整 理委員会へ抗議方依頼について	779
六	438	昭和8年8月10日	三九一	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	我が方に対する実力的援助を惜しまない旨およ び我が方との連絡熱望につき閻錫山内話につ いて	780
六	437	昭和8年8月10日	三九一	在米国外務大臣宛(電報)	我々が除外するまたは我が方が協議のない 対中国援助には不同意の旨重光次官より仏国 代理大使に注意喚起について	350
六	437	昭和8年8月10日	三九一	在米国外務大臣宛(電報)	米国外務長官に対し財政諮問委員会計画への 同国側不参加を評価し列国の対中国援助に対 する我が方立場を説明について	583
六	437	昭和8年8月10日	三九一	在米国外務大臣宛(電報)	棉麦借款により得た資金の使途など時局に関 する唐紹儀の談話について	583

九	六	六	十	十	一	十	六	三	二	一	六	三	十	九	六	十	十	四
637	442	441	725	724	31	723	440	187	115	30	439	186	722	636	438	695	694	283
昭和8年8月22日	昭和8年8月22日	昭和8年8月22日	昭和8年8月21日	昭和8年8月21日	昭和8年8月21日	昭和8年8月19日	昭和8年8月19日	昭和8年8月19日	昭和8年8月19日	昭和8年8月19日	昭和8年8月18日	昭和8年8月18日	昭和8年8月17日	昭和8年8月17日	昭和8年8月17日	昭和8年8月16日	昭和8年8月16日	昭和8年8月16日
四八	機密三〇七	三九一	亜一機密 四九八	一五五	四七八	四七〇	三八三	九二二	三八〇	四七三	四七三	三三	四六七	四一二	四七〇	機密四七六	機密二九二	機密七七〇
内田外務大臣より 在漢口清水總領事宛(電報)	在英国松平大使より 内田外務大臣宛	在仏国沢田臨時代理大使より 内田外務大臣宛(電報)	重光外務次官より 潮内務次官宛	内田外務大臣より 在中国有吉公使宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在仏国沢田臨時代理大使より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国栗原臨時代理大使より 内田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在英国松平大使より 内田外務大臣宛(電報)	在营口荒川領事より 内田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在天津田中總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在英国松平大使より 内田外務大臣宛(電報)	在南京日高總領事より 内田外務大臣宛	在芝罘山崎領事より 内田外務大臣宛	在奉天峰谷總領事より 内田外務大臣宛
付記 八月十日付亞細亞局第一課起案高裁案 「在沙市、重慶領事館再開ニ關スル件」	作成日、作成局課不明 「在支硫安工場設立計劃ニ關シ英國『インペリアルケミカル』社長渡支ノ件」			別電 八月二十一日発在中國有吉公使より 我が方の物質的援助に關する具体 認方などに関し黄郛提議について														
沙市および重慶の領事館再開決定について	財政諮問委員会計画に關する石井全權とモネとの会談について	中国での硫安工場設立計画のため現地視察予定の英國企業社長に對し中国借款問題に關し注意喚起について	宋子文一行の横浜その他の寄港地における保護方に関し嚴重手配方要請について	宋子文の本邦滞在については先ず中国政府および宋の希望の有無を確認方訓令	華北における財政および裁兵問題、汪兆銘に對する羅外交部長免職提議などに関し黄郛に話について	宋子文本邦寄港に際する上陸滞在中國實現のための蔣介石への働きかけに關する曹汝霖談話について	財政諮問委員会計画は成功の見込みなしとの石井全權に對する仏国外務次官談話について	満州国による復州湾開港承認要請の背景にある遼東半島中立地帯内ジャンク貿易開放の同国要望について	ドル側財団のエアロ・フランスに對する満州企業組合の權利譲渡案について	羅文幹外交部長、劉崇傑同次長の辭職問題ならびに宋の日本寄港問題に關する汪の意向を唐有壬内話について	米國大統領の宋子文に對する財政諮問委員会計画への賛意表明により事態變化とのラモント談話について	復州湾開港承認問題に關し關東州内三道湾の開放および同湾への大連海關分署設置をもつて實際的解決としたき旨意見具申	米國より帰國途次の宋子文本邦寄港を利用して本邦朝野有力者との会談設定方曹汝霖勸告について	華北における党部の抗日活動抑制を黄郛へ申入れ方有吉公使に依頼について	電口方面での本邦漁船員による中國海關監視員暴行致死事件に關し中國外交部抗議について	中國側による港則違反船舶の抑留に鑑み本邦漁船に對し中國領海および中國諸港への出入りを控えるよう周知方稟請	北寧・奉天兩鐵道連絡問題に關し奉天において兩鐵路局による會議開催について	
782	591	589	888	888	41	887	587	237	140	40	585	237	887	781	585	847	846	351

十	九	一	六	三	四	六		三	十	十	六
730	639	34	445	190	285	444		189	729	728	443
昭和8年8月31日	昭和8年8月31日	昭和8年8月31日	昭和8年8月30日	昭和8年8月30日	昭和8年8月29日	昭和8年8月28日		昭和8年8月28日	昭和8年8月26日	昭和8年8月26日	昭和8年8月26日
四九二	商二二二	三四八	機密五〇〇	七五八	一七〇	二〇六		九六〇	一六七	一六五	六七八
在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在中国横竹大使館商務参事官より 内田外務大臣宛	在中国矢野大使館参事官より 内田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 内田外務大臣宛	内田外務大臣より 在満州国菱刈大使宛(電報)	内田外務大臣より 在中国有吉公使宛(電報)	内田外務大臣より 在米出国出淵大使宛(電報)		別電 八月二十八日発在満州国菱刈大使より内田外務大臣宛第九六一号 右弁法案	内田外務大臣より 在中国有吉公使宛(電報)	内田外務大臣より 在中国有吉公使宛(電報)	在米出国出淵大使より 内田外務大臣宛(電報)
帰国後の宋子文による横浜上陸問題などに関する中国新聞記者への談話について	輸入貨物への原産国名の標記方法に関する各国の態度について	宋子文帰国後の政局および旧東北軍の移駐問題などに関する商震など有力者の談話について	英国団匪賠償金返還分の使途に関する在上海英国商業会議所会頭の談話について	遼東半島中立地帯内四港におけるジャンク貿易の承認について	満州国内の反政府匪賊に対する中国側の武器供給および密使派遣は同国治安を攪乱し塘沽停戦協定違反のため外交部に嚴重警告方訓令	重光次官側が宋子文との会談を希望したとの報道は全くの事実無根について	横浜入港中の宋子文の船内での面会者について	意見回示方稟請	米国の大統領の賛意もあるも財政諮問委員会計画への我が方絶対反対の意向を同国國務省に注意喚起について	重光次官側が宋子文との会談を希望したとの報道は全くの事実無根について	米国の大統領の賛意もあるも財政諮問委員会計画への我が方絶対反対の意向を同国國務省に注意喚起について
897	784	48	595	242	356	594	240	239	896	896	592

一	十	四	八	三	一		十	九
33	727	284	564	188	32		726	638
昭和8年8月25日	昭和8年8月24日	昭和8年8月24日	昭和8年8月23日	昭和8年8月23日	昭和8年8月23日		昭和8年8月22日	昭和8年8月22日
四八七	一六〇	公機密 八〇八	商二二五	九四三	四〇五		四八一	
在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣より 在中国有吉公使宛(電報)	在満州国菱刈大使より 内田外務大臣宛	在中国横竹大使館商務参事官より 内田外務大臣宛	在満州国菱刈大使より 内田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 内田外務大臣宛(電報)		在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)
付記 八月二十六日発在南京日高総領事より内田外務大臣宛電報第四一二号 宋子文は本邦に上陸しない旨唐有王通報について	宋子文は横濱に上陸しない旨在本邦中国公使館より通告について	北寧・奉山両鉄道連絡問題に関する両鉄路局会議での協議状況および申合せ事項について	中国新聞税率実施の背景にある同国内債政策について	過渡的弁法につき関係機関の協議会開催について	宋子文日本寄港問題などに関し汪との意見交換について		陸軍省軍務局第一課長より 守島亜細亜局第一課長より 井上海軍省軍務局第一課長 (中佐)宛	華北における党部の排日活動抑制方を黄郛に申入れについて
896	895	352	701	239	46		889	783

五	四	四	四	五	五	四	一	五	三	三	一	四	二	二	二	二	六	四	三
347	294	293	292	346	345	291	39	344	198	197	38	290	120	119	118	117	447	289	196
昭和8年9月15日	昭和8年9月15日	昭和8年9月15日	昭和8年9月14日	昭和8年9月13日	昭和8年9月13日	昭和8年9月13日	昭和8年9月13日	昭和8年9月12日	昭和8年9月9日	昭和8年9月9日	昭和8年9月9日	昭和8年9月(8)日	昭和8年9月8日	昭和8年9月8日	昭和8年9月8日	昭和8年9月8日	昭和8年9月7日	昭和8年9月7日	昭和8年9月7日
四五二	四五二	一四六	四五二	一八〇	垂一機密 一一三	五二〇	五一九	機密五一八	公機密 八七六	八〇七	五〇八	三六二	二五五	一〇三五	一〇三四	垂三機密 六八	六九八	三六〇	一〇二九
在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣より 在中国矢野大使館参事官宛(電報)	在天津栗原総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在青島坂根総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在青島坂根総領事宛	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 内田外務大臣宛	在満州国菱刈大使より 内田外務大臣宛	在満州国菱刈大使より 内田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在中国矢野大使館参事官より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣より 在英国松平大使宛(電報)	在満州国菱刈大使より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国菱刈大使より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣より 在独国外務大臣宛	在米国外務大臣宛(電報)	内田外務大臣宛(電報)	在満州国菱刈大使より 内田外務大臣宛(電報)
付記 「満洲國ニ依ル遼河工程局接收問題」	付記 「満洲國ニ依ル遼河工程局接收問題」	付記 「満洲國ニ依ル遼河工程局接收問題」	付記 「満洲國ニ依ル遼河工程局接收問題」	付記 「満洲國ニ依ル遼河工程局接收問題」	付記 「満洲國ニ依ル遼河工程局接收問題」	付記 「満洲國ニ依ル遼河工程局接收問題」	付記 「満洲國ニ依ル遼河工程局接收問題」	付記 「満洲國ニ依ル遼河工程局接收問題」	付記 「満洲國ニ依ル遼河工程局接收問題」	付記 「満洲國ニ依ル遼河工程局接收問題」	付記 「満洲國ニ依ル遼河工程局接收問題」	付記 「満洲國ニ依ル遼河工程局接收問題」	付記 「満洲國ニ依ル遼河工程局接收問題」	付記 「満洲國ニ依ル遼河工程局接收問題」	付記 「満洲國ニ依ル遼河工程局接收問題」	付記 「満洲國ニ依ル遼河工程局接收問題」	付記 「満洲國ニ依ル遼河工程局接收問題」	付記 「満洲國ニ依ル遼河工程局接收問題」	付記 「満洲國ニ依ル遼河工程局接收問題」
満洲国における金本位制度実施の延期決定について	満洲国における金本位制度実施の延期決定について	満洲国における金本位制度実施の延期決定について	満洲国における金本位制度実施の延期決定について	満洲国における金本位制度実施の延期決定について	満洲国における金本位制度実施の延期決定について	満洲国における金本位制度実施の延期決定について	満洲国における金本位制度実施の延期決定について	満洲国における金本位制度実施の延期決定について	満洲国における金本位制度実施の延期決定について	満洲国における金本位制度実施の延期決定について	満洲国における金本位制度実施の延期決定について	満洲国における金本位制度実施の延期決定について	満洲国における金本位制度実施の延期決定について	満洲国における金本位制度実施の延期決定について	満洲国における金本位制度実施の延期決定について	満洲国における金本位制度実施の延期決定について	満洲国における金本位制度実施の延期決定について	満洲国における金本位制度実施の延期決定について	満洲国における金本位制度実施の延期決定について
433	367	367	365	431	429	428	427	364	55	427	251	363	146	145	145	144	599	363	248

六	六	四	四	二	五	四	一	九	六	六	一	八	八	六	二	二	八
393	392	297	296	123	348	295	41	640	391	390	40	567	566	389	122	121	565
昭和8年9月22日	昭和8年9月22日	昭和8年9月22日	昭和8年9月22日	昭和8年9月21日	昭和8年9月20日	昭和8年9月20日	昭和8年9月20日	昭和8年9月19日	昭和8年9月19日	昭和8年9月18日	昭和8年9月18日	昭和8年9月16日	昭和8年9月16日	昭和8年9月16日	昭和8年9月16日	昭和8年9月16日	昭和8年9月15日
四七五	二二六	四六三	三九六	八五六	五三八	一一〇〇	四六八	四六二	五三五	合二七五二	五三〇	五二九	五二七	合二七四三	一〇八七	垂一機密 九三	四四九
在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣より 在米国外務大臣宛(電報)	在天津栗原総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在中国矢野大使館参事官より 広田外務大臣宛(電報)	在満州国菱刈大使宛(電報)	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在満州国菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣より 在米国外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣より 在米国外務大臣宛(電報)	在満州国菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	在英國松平大使宛 在英國松平大使宛	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)
別電 九月二十二日発広田外務大臣より 右情報	別電 九月二十二日発広田外務大臣より 右情報	別電 九月二十二日発広田外務大臣より 右情報	別電 九月二十二日発広田外務大臣より 右情報	別電 九月二十日発在満州国菱刈大使より 協定区域内への匪賊討伐軍入域などに関する中国側要望および関東軍側回答に ついて	別電 九月二十日発在満州国菱刈大使より 右交渉開始時期および主要議題について	別電 九月二十日発在満州国菱刈大使より 右交渉開始時期および主要議題について	別電 九月二十日発在満州国菱刈大使より 右交渉開始時期および主要議題について	別電 九月二十日発在満州国菱刈大使より 右交渉開始時期および主要議題について	別電 九月二十日発在満州国菱刈大使より 右交渉開始時期および主要議題について	別電 九月二十日発在満州国菱刈大使より 右交渉開始時期および主要議題について	別電 九月二十日発在満州国菱刈大使より 右交渉開始時期および主要議題について	別電 九月二十日発在満州国菱刈大使より 右交渉開始時期および主要議題について	別電 九月二十日発在満州国菱刈大使より 右交渉開始時期および主要議題について	別電 九月二十日発在満州国菱刈大使より 右交渉開始時期および主要議題について	別電 九月二十日発在満州国菱刈大使より 右交渉開始時期および主要議題について	別電 九月二十日発在満州国菱刈大使より 右交渉開始時期および主要議題について	別電 九月二十日発在満州国菱刈大使より 右交渉開始時期および主要議題について
盧山会議における棉麦借款の実収分配および 全国経済委員会拡大に関する決議について	盧山会議における棉麦借款の実収分配および 全国経済委員会拡大に関する決議について	盧山会議における棉麦借款の実収分配および 全国経済委員会拡大に関する決議について	盧山会議における棉麦借款の実収分配および 全国経済委員会拡大に関する決議について	盧山会議における棉麦借款の実収分配および 全国経済委員会拡大に関する決議について	盧山会議における棉麦借款の実収分配および 全国経済委員会拡大に関する決議について	盧山会議における棉麦借款の実収分配および 全国経済委員会拡大に関する決議について	盧山会議における棉麦借款の実収分配および 全国経済委員会拡大に関する決議について	盧山会議における棉麦借款の実収分配および 全国経済委員会拡大に関する決議について	盧山会議における棉麦借款の実収分配および 全国経済委員会拡大に関する決議について	盧山会議における棉麦借款の実収分配および 全国経済委員会拡大に関する決議について	盧山会議における棉麦借款の実収分配および 全国経済委員会拡大に関する決議について	盧山会議における棉麦借款の実収分配および 全国経済委員会拡大に関する決議について	盧山会議における棉麦借款の実収分配および 全国経済委員会拡大に関する決議について	盧山会議における棉麦借款の実収分配および 全国経済委員会拡大に関する決議について	盧山会議における棉麦借款の実収分配および 全国経済委員会拡大に関する決議について	盧山会議における棉麦借款の実収分配および 全国経済委員会拡大に関する決議について	盧山会議における棉麦借款の実収分配および 全国経済委員会拡大に関する決議について
524	523	370	369	151	444	369	368	786	522	520	58	708	708	519	150	146	706

付記一 十月一日付、亜細亜局第一課作成
「中日實業ノ青島電話局實力接收方ノ件」

二 十月十一日付、作成局課不明
「中日實業對交通部電話借款材料供給優先權問題對策」

中国新関税率緩和問題に對する中国側との遷延
的態度に關し有吉公使汪兆銘を詰問についで
英國船員拉致事件に關し我が方責任に言及し
た英國側口上書およびこれに對する回答書送
付についで

満州国石油輸入関税率の区分方法見直しに關
する英米石油会社の請願についで

借款棉麦の処分方法および資金の使途などに
關する中国側の動向についで

孫科および宋子文と中国新関税率緩和問題懇
談のため汪兆銘上海往訪についで

中国新関税率緩和方に関する我が方申入れに
對し財政部反発との彭学沛談話についで

盧山會議にて決議された國民政府の政策方針
要綱に關する黄郛よりの情報についで

中国による列国への財政的援助要請問題に關
する孫科および宋子文の見解についで

張公權よりの邦人当業者の借款棉引受け方要
請に對する我が方対処方針指示についで

南京において九、一八記念日に日貨焼却事件
發生についで

八	六	五	一	八	四	四	四	八	四	一	一	四	八	八	四	四	四	十	五	四	八	四
573	394	350	44	572	307	306	305	571	304	43	42	303	570	569	302	301	300	716	349	299	568	298
昭和8年9月30日	昭和8年9月30日	昭和8年9月30日	昭和8年9月30日	昭和8年9月29日	昭和8年9月29日	昭和8年9月29日	昭和8年9月29日	昭和8年9月28日	昭和8年9月28日	昭和8年9月28日	昭和8年9月28日	昭和8年9月27日	昭和8年9月26日	昭和8年9月26日	昭和8年9月26日	昭和8年9月26日	昭和8年9月26日	昭和8年9月25日	昭和8年9月25日	昭和8年9月25日	昭和8年9月24日	昭和8年9月23日
二〇二	商機密 二四二	四一一	四五二	五七六	一一六一	五七七	五七五	五七〇	四〇六	五七一	五六九	一九七	五六五	一九六	公機密 九一八	五六四	五八二	公電機密 五三一	機密四五二	一一三八	五五七	三九七
広田外務大臣より 在中国有吉公使宛(電報)	在中国横竹大使館商務参事官より 広田外務大臣宛	在中国矢野大使館参事官より 広田外務大臣宛(電報)	在広東吉田総領事代理より 広田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在満州国菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在中國矢野大使館参事官より 広田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在満州国菱刈大使より 広田外務大臣宛	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 広田外務大臣宛	在青島坂根総領事より 広田外務大臣宛	在満州国菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	
中国新関税率緩和問題に 関し汪兆銘への警告 至急実施方訓令	借款棉の処分行悩みの状況について	原平・介休間鉄道建設計画など山西省交通問題および日本側との提携に 関する閩錫山談話について	満州国承認問題に日中両国 ともに拘泥し過ぎるとの唐紹儀見解について	中国新関税への英国側対応に 関する英国公使談話について	千学忠率いる匪賊討伐軍の塘沽停戦協定区域内進入に 対し関東軍警告発出について	方振武軍などへの関東軍武力行使問題に 関し我が方意向を黄郛に回答について	東北系文武官の東北帰還許可方黄郛要望について	汪兆銘に対する新関税率緩和問題の解決督促意見具申	関東軍の空爆による方振武および吉鴻昌両軍の協定区域外撤退について	華北情勢視察および中国側ならびに外交団との接洽のため北平出張承認方稟請	日中関係打開の根本的政策に 関し黄郛ら親日派の勢力増大が急務でありその援助は彼らの立場を考慮して行うべき旨意見具申	黄郛よりの方振武軍などに対する関東軍の武力行使延期要請への我が方回答について	中国新関税率緩和問題をめぐる汪兆銘と宋子文の 関係などに関し黄郛談話について	中国新関税率緩和問題の早急解決につき汪兆銘に 嚴重督促方訓令	関東軍作成の塘沽停戦協定善後処理交渉案の送付および留意点回示方稟請	方振武軍などに対する関東軍の武力行使は自分の帰平後まで延期方黄郛要請について	福建省での米国諸活動説に 関し在福州同国副領事釈明について	膠済鉄道材料購入に 関する落札結果について	唐有壬に 対し中国新関税率緩和問題への対応遷延を非難し至急解決方説得について	塘沽停戦協定善後処理交渉における満州国側代表者の選定などに 関する関東軍および満州国側との協議について	関東軍航空機による方振武らへの協定区域外退去命令ビラ散布について	
714	525	447	65	713	382	382	381	712	380	64	60	379	711	711	374	373	372	880	446	371	710	371

六	九	九	八	五	九	九	八	六	四	一	一
396	649	648	575	354	647	646	574	395	308	46	45
昭和8年10月12日	昭和8年10月11日	昭和8年10月11日	昭和8年10月11日	昭和8年10月11日	昭和8年10月10日	昭和8年10月9日	昭和8年10月9日	昭和8年10月9日	昭和8年10月7日	昭和8年10月7日	昭和8年10月7日
公信九二三	五九八	四〇	五九七	二〇〇	二九五	二九一	三四八	七三七	五一〇	四二六	合二八四八
在天津栗原総領事より 広田外務大臣宛	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事宛(電報)	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在青島坂根総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在上海石射総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在米出国出淵大使より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在中国中山公使館一等書記官より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣より 在英国松平大使、在米出国出淵大使、在ソ連邦大田大使他宛(電報)
天津市商務会による棉麦借款反対運動について……………	原産国標記条例の実施延期に関する汪兆銘の内話について……………	福州公安局の我が警察官連行事件に関し威圧策容認について……………	中国新聞税率緩和問題の解決督促方申入れに対し汪兆銘は税制専門家に諮問の上税率引上げの中国側理由を我が方に提示方提議について……………	膠済鉄道材料には中国製品を使用する旨決定について……………	台湾籍民への圧迫措置に端を発した公安局による我が総領事館警察官連行事件発生について公安局の我が警察官連行事件につき軍艦派遣を要請について……………	立法院財政委員会における外国米輸入税徴収の原則決定について……………	棉麦借款の用途および宋子文の横浜寄港中の動静などに関する李振一の談話について……………	日本軍の山海関税関事務阻止問題の解決方外交部非公式申入れについて……………	棉麦借款の内容に関する調査結果について……………	全国経済委員会拡充および旧東北軍整理問題など最近中国政局に関する観測について……………	
530	793	793	715	474	792	791	715	529	382	67	66

二	九	九	五	五	五	九	九	九
124	645	644	353	352	351	643	642	641
昭和8年10月5日	昭和8年10月3日	昭和8年10月3日	昭和8年10月3日	昭和8年10月3日	昭和8年10月3日	昭和8年10月2日	昭和8年10月1日	昭和8年10月1日
公機密 九六五	四五九	五八四	亜一機密合 一三九	九五	二〇三	四一五	四九三	四五五
在満州国慶劉大使より 広田外務大臣宛	在広東吉田総領事代理より 広田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在広田外務大臣より 在仏国沢田臨時代理大使、在英國松平大使、在ベルギー佐藤大使他宛 付記一 九月一日付、守島亜細亜局第一課長作成 「北支地方ニ對スル我方經濟的發展策ニ關スル件(守島試案)」 二 九月二十六日付、守島亜細亜局第一課長作成 「對支不確實債權整理問題及北支方面ニ於ケル我方權益ノ保全伸張方ニ關スル施策ノ件」	在青島坂根総領事宛(電報)	在中國有吉公使宛(電報)	在中國中山公使館一等書記官より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在広東吉田総領事代理より 広田外務大臣宛(電報)
対滿投資のための銀行設立計画に関し独國人ハイエと関東軍參謀長および我が方大使館參事官との会談内容について……………	広東方面の抗日風潮改善の兆しについて……………	南京における日貨焼却事件の背景について……………	華北における我が方權益發展および列國の對中国財政的援助に對する措置につき訓令……………	膠済鉄道材料として日本製品を購入するよう同鉄路局に交渉方訓令……………	膠済鉄道材料購入に際する日本製品排斥問題に關し鉄道部に嚴重抗議方訓令……………	袁良などに排日の言論および活動の取締方要求について……………	使用文字に英字を追加する原産国標記条例修正の審議状況に關し彭学沛内話について……………	広州市長に對し反蔣の具としての抗日提唱には無関心であり得ない旨警告について……………
152	789	789	450	449	449	788	788	787

十	九	六	八	九	四	三	二	六	六	九	九	六	四	九	九	一	一	十	九	四	八	
717	656	400	577	655	311	199	125	399	398	654	653	397	310	652	651	48	47	696	650	309	576	
昭和8年10月24日	昭和8年10月24日	昭和8年10月24日	昭和8年10月23日	昭和8年10月21日	昭和8年10月21日	昭和8年10月20日	昭和8年10月20日	昭和8年10月18日	昭和8年10月18日	昭和8年10月17日	昭和8年10月16日	昭和8年10月16日	昭和8年10月16日	昭和8年10月14日	昭和8年10月14日	昭和8年10月14日	昭和8年10月14日	昭和8年10月13日	昭和8年10月13日	昭和8年10月13日	昭和8年10月12日	
二四八	三〇八	二二二	二二一	三〇六	四四六	一二八三	合一九二〇	六一八	六一六	三〇二	二九一	二一五	一二六〇	六〇六	五二四	四三五	二二二	機密九三二	五二三	九四六	六〇二	
在米国外務大臣宛(電報)	在福州守屋總領事より 広田外務大臣宛(電報)	在厦門塚本領事より 広田外務大臣宛(電報)	在福州守屋總領事より 広田外務大臣宛(電報)	在福州守屋總領事より 広田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在滿州国菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	付記 十月十九日付、作成局課不明 「重光次官米國大使館參事官會談要旨」	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在福州守屋總領事より 広田外務大臣宛(電報)	在漢口清水總領事より 広田外務大臣宛(電報)	在福州守屋總領事より 広田外務大臣宛(電報)	在滿州国菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高總領事より 広田外務大臣宛(電報)	在中國中山公使館一等書記官より 広田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使宛(電報)	在天津栗原總領事より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高總領事より 広田外務大臣宛(電報)	別電 十月十三日発広田外務大臣より在滿州国菱刈大使宛第九四七号 右外務省側意見	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	
漳竜鉄道への米國資本導入説に関し同國國務省に再度注意喚起方訓令	対日關係を考慮して國民政府は省主席を更迭するとの風説について	当分の間借款棉不買方針の継続方訓令	福建省政府による台灣籍民輸入米陸揚げ阻止の中止を國民政府へ要求方稟請	公安局の我が警察官連行事件に対する我が方要求への省政府側の妥協的な対応振りについて	宋哲元との連絡強化のため多倫駐在の松室大佐より張家口に使者派遣について	敦図線國境通関問題に関し大使館員の終端港および國境接続駅視察報告について	ニールセン誘拐事件などに関する在本邦米國大使館參事官と重光次官との會談内容について	借款棉不買方針は現地邦商に多大の犠牲を強いるため再考方意見具申	借款棉の処分状況および邦人当業者の動向について	公安局の我が警察官連行事件に関し關係者の処罰等を要求する公文を省主席に提出について	沙市における領事館再開後の対日風潮について	借款棉の処分進捗状況査報方訓令	岡村閩東軍參謀副長の北平米訪を中國側切望との雷寿榮談話について	原産國標記条例の英字使用容認に関する修正経緯について	福州公安局の我が警察官連行事件に関し外交部に注意喚起について	宋子文の対日態度および羅文幹の新疆視察の事情に関する黃郛の見解について	有吉公使の北平出張承認について	閩東州よりの密輸入防止ならびに中國関稅率引下げに関する天津日本人商業會議所の請願書送付について	南京における日貨焼却事件などに関連して排日運動の嚴重取締方を外交部などに申入れについて	閩東軍作成の塘沽停戰協定善後処理交渉案につき陸軍省に外務省側意見開示について	中國新関稅率緩和問題の解決には時間を要するためその間予定通りの北上承認方稟請	
881	800	535	718	798	384	253	153	534	533	797	796	532	384	796	795	69	68	850	794	384	383	717

日付索引																			
四	二	六	六	六	十	九	二	十	八	十	八	五	四	二	八	二	二	二	二
313	131	448	402	401	719	657	130	718	580	697	579	355	312	129	578	128	127	126	
昭和8年11月4日	昭和8年11月4日	昭和8年11月1日	昭和8年11月1日	昭和8年11月1日	昭和8年10月31日	昭和8年10月31日	昭和8年10月30日	昭和8年10月28日	昭和8年10月28日	昭和8年10月27日	昭和8年10月27日	昭和8年10月27日	昭和8年10月27日	昭和8年10月27日	昭和8年10月26日	昭和8年10月25日	昭和8年10月25日	昭和8年10月25日	昭和8年10月25日
機密四三三	一三三九	二四五	二四六	二五五	七七七	三二六	二四二	四五九	四六	五五七	六三三	四五六	五〇九	九九一	二二四	公機密 一〇二四	七〇四	一三〇一	
在満州国大臣宛	在満州国大臣宛(電報)	在ニューヨーク堀内総領事より	在ニューヨーク堀内総領事より	在米国外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より	在独国外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より	在南京日高総領事宛(電報)	在南京日高総領事より	在中國有吉公使より	在中國有吉公使より	在天津栗原総領事より	在満州国大臣宛(電報)	在厦門塚本領事より	在満州国大臣宛	在ハルビン森島総領事より	在満州国大臣宛(電報)	在満州国大臣宛(電報)
別電																			
十一月一日発																			
借款棉処分の現状について																			
在米国外務大臣宛第二五六号																			
日本側の借款棉購入説に関するラモント問合																			
ラモントに對し帰国後の末子文の勢力衰弱および国民政府首腦の対日態度の変化など説明について																			
独国側よりの満州国産大豆輸入を通じての日滿両国との経済提携方提議に關し大使館商務官の研究報告について																			
閩東軍が作成した塘沽停戦協定善後処理のための「満州国對北支政権問題協定事項案」に對する外務省側意見について																			
386	159	600	538	537	536	884	801	159	883	882	720	851	720	475	386	158	719	156	155

四	319	昭和8年11月10日	四八二	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	塘沽停戦協定善後処理に関する申合わせ事項 成立について	395
三	200	昭和8年11月10日	一三六七	在満州国菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	敦図線国境通関問題に関する方策要綱案討議 のため関係機関の協議会開催について	254
二	134	昭和8年11月10日	一三七七	在満州国菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	仏国側資本の対満投資事業に関する活動概要 について	163
四	318	昭和8年11月9日	四八一	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	北平での停戦協定善後処理交渉において日本 側主張貫徹の見込みについて	395
二	133	昭和8年11月9日	一三六三	在満州国菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	米国著名土木会社の満州国土木建築事業引受 け方申越しに対し現在では外国技術導入を必要 としない旨満州国側回答について	162
一	50	昭和8年11月9日	五九二	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	内政上の機微なる状況に鑑み我が方が華北問 題などに関し寛容の態度をとるよう彭学沛切 望について	71
一	49	昭和8年11月9日	五九〇	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	宋子文財政部長辭職の事情などに関する唐有 壬の内話について	70
四	317	昭和8年11月(8)日	四八〇	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	華北財政不足額の支出方財政部承認および旧 東北軍整理問題の見通しに関する王克敏内話 について	394
四	316	昭和8年11月8日	四七九	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	北平での停戦協定善後処理交渉における日本 側提案に対する中国側の主張について	393
三	239	昭和8年11月8日	一〇九二 公機密	在満州国菱刈大使より 広田外務大臣宛	吉林省における朝鮮人農民への満州国粮石税 徴税に關し税率改訂まで納税差控え方在新京 総領事に指示について	296
二	132	昭和8年11月8日	一三五九	在満州国菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	モバン社代表の満州国訪問について	162
六	404	昭和8年11月7日	五一	在ポートランド中村領事より 広田外務大臣宛(電報)	米中棉麦借款と米国小麦輸出補償との関係に ついて	540
四	315	昭和8年11月7日	四七七	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	北平での塘沽停戦協定善後処理交渉における 意見交換の模様について	389
八	581	昭和8年11月6日	五八二	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	外国米輸入税に対する仏国側の反対について	721
四	314	昭和8年11月5日	四七三	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	中国側の張家口・庫倫間貿易再開機運への対 処振り回し方張家口領事稟請について	387
六	403	昭和8年11月4日	二二七	広田外務大臣より 在中国堀内公使館一等書記官宛(電報)	補助金付米国滞貨小麦の对中国輸出に關しそ の実現性および同国市場などへの影響予測に つき査報方訓令	539
				付記 十二月二十六日発在満州国菱刈大使より 庫倫間貿易再開を阻止する必要はない旨意見具申	張家口・	388
				別電 十一月七日発在中國有吉公使より 右交渉において日本側提議の取極案	広田外務大臣宛第四七八号	391
				付記一 十一月二日付、関東軍参謀部作成 「熱河西南境察哈爾省ニ駐屯スル雜軍處理案」		392
				二 十一月二日付、関東軍参謀部作成 「察東問題ニ關スル應酬要領」		393
				三 十一月二日付、関東軍参謀部作成 「東陵守備ニ關スル件」		393

二 十一月十日発在中國有吉公使より
右申合わせ事項に対する中国側希望事項

397

三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
397	601	256	255	476	721	802	476	257	477	477	478	479	604	723	164	259	605	803	397	398
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三	五	五	五	七	八	二	三	七	九	四				
三	六	五	八	九	五	三														

二	七	七	六	三	七	七	六	二	九	七		七	五	五	五	三	八	七	一	十	七	四	
137	461		460	405	205	459	458	450	136	660	457		456	364	363	362	204	584	455	51	698	454	321
昭和8年11月21日	昭和8年11月20日		昭和8年11月20日	昭和8年11月20日	昭和8年11月19日	昭和8年11月19日	昭和8年11月19日	昭和8年11月19日	昭和8年11月19日	昭和8年11月18日	昭和8年11月18日		昭和8年11月18日	昭和8年11月18日	昭和8年11月18日	昭和8年11月18日	昭和8年11月17日	昭和8年11月17日	昭和8年11月17日	昭和8年11月16日	昭和8年11月16日	昭和8年11月16日	
二六六	六八		四九	二三八	一四一八	三三〇	二四二	五四四	五四三	二二七	三二七		四八	五三八	二七四	一六八	一〇四三	六〇九	三二五	六〇七	六〇四	四七	六〇二
広田外務大臣より 在仏国沢田臨時代理大使宛(電報)	広田外務大臣より 在厦門塚本領事宛(電報)		広田外務大臣より 在福州守屋総領事宛(電報)	広田外務大臣より 在中国堀内公使館一等書記官宛(電報)	在満州国菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在厦門塚本領事より 広田外務大臣宛(電報)	在仏国沢田臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	在中國堀内公使館一等書記官宛(電報)	在福州守屋総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 広田外務大臣宛(電報)		在仏国沢田臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	在済南服部総領事代理より 広田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使宛(電報)	広田外務大臣より 在満州国菱刈大使宛(電報)	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣より 在福州守屋総領事宛(電報)	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	
早急なる契約履行につきドリル側財団に勧告 方および計画具体化の可能性につき調査方訓令	軍艦派遣の時期は現地の実情で判断の外なく 必要の場合直接台湾の海軍側と連絡方訓令		抗日を旗幟とせず我が權益を侵害しない限り 干渉の意図なしとの我が方方針により福建新 政府を指導方訓令	復州湾港湾行政の関東庁海務局への委任など に対する満州国側の意向について	借款棉第二回分到着の詳細、処分状況および 普通米棉との価格差など査報方訓令	福建獨立運動に関する治安動揺の場合の軍艦派 遣要請に関する対処方針回示方訓令	宋子文の財政諮問委員会計画とモノとの関係 などに関する情報について	福建新政府と欧米側の接触状況について	福建新政府の成立に当たっては暫時成行き観望 の外ないが措置振り回示方訓令	交通部による九、一八国恥記念切手発売中止 要求方訓令	福建獨立運動を注視し欧米勢力との結託を監 視する旨の陸軍側方針について		正太鉄道収入を担保とする鉄道材料供給借款 問題に関するド・ラ・ショームとの会談につ いて	膠済鉄道延長線敷設計画に関する同鉄路管理 委員会委員長の新聞談話について	平綏鉄道債務整理については今後への影響が 大きいことに鑑み償還案詳細など査報方訓令	復州湾港湾行政の関東庁海務局への委任など に対する満州国側の同意取付け方訓令	中国関税率引上げ理由に関する専門的見解の 提示を唐有壬および彭学沛に嚴重督促につ いて	陳銘枢らを中心とした福建獨立政權樹立計画 に関する林知淵の内話について	辭職後の宋子文動向、汪および黄への反対運 動など内政問題に關連し結果的に満州国承認 となる問題は実行不可能の旨唐有壬談話につ いて	山海關方面における本邦商船の貨物無通陸 揚げおよび日本側の税関検査阻止に対する中 国外交部抗議について	福建獨立運動に関する和知武官報告ならびに 同運動に對し放任傍觀の陸軍側方針について	北寧線直通連絡問題などに関する我が方の性 急な要請は汪兆銘など親日派の立場を弱める 結果となる旨彭学沛注意喚起について	
166	614		610	541	260	609	601	165	803	608		608	483	483	481	259	724	606	73	851	605	398	

七	七	七	十	十	七	七	七	七	七	七	七	七	七	三	十	七	七	七	一	七	七	七
483	482	481	681	680	480	479	478	477	476	475		474	473	207	679	472	471	470	53	469	468	467
昭和8年11月29日	昭和8年11月29日	昭和8年11月29日	昭和8年11月28日	昭和8年11月28日	昭和8年11月28日	昭和8年11月28日	昭和8年11月28日	昭和8年11月28日	昭和8年11月28日	昭和8年11月27日		昭和8年11月27日	昭和8年11月27日	昭和8年11月27日	昭和8年11月26日	昭和8年11月26日	昭和8年11月26日	昭和8年11月26日	昭和8年11月26日	昭和8年11月25日	昭和8年11月25日	昭和8年11月25日
六四九	三六八	二五〇	四一四	四一三	六九八	三六四	三六二	六四五	合二〇九六	合二〇八五		七三	二四四	五一	六四〇	六四三	三五四	二五四	六四一	(脱)	二五五	六三五
在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣より 在中国有吉公使宛(電報)	在上海石射総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在上海石射総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事、 在厦門塚本領事宛(電報)	広田外務大臣より 在南京日高総領事 宛(電報)		広田外務大臣より 在厦門塚本領事宛(電報)	広田外務大臣より 在中國有吉公使宛(電報)	在營口太田領事より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在厦門塚本領事より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在厦門塚本領事より 広田外務大臣宛(電報)	在厦門塚本領事より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	
厦門の治安維持問題および外国船舶臨検問題 ………	厦門の治安維持方申入れに対し李済深は事故 の発生は極力防止すると明言について	福建省新政府への軍事物資等禁輸要請などに 関する中国外交部通告への回答修正方など回訓	上海停戦協定区域内中国軍通過問題に關し公 文交換に應じる用意ありとの陳儀意向について	今回の上海停戦協定区域内における中国軍通 過に關し中国側の通告振りについて	福建省新政府への軍事物資等禁輸要請ならび に外国船舶臨検に關する中国外交部通告への 回答振りにつき請訓	福建省空爆など新政府に対する国民政府実力 行使の場合の我が方対処方針に關し英国領事 より照会について	福建省新政府の何公敢福建省長と我が居留民会 長との排日問題などに関する会談内容について	福建省における外国船舶臨検は条約違反とす る仏国公使より主要関係国の態度協調方要望 について	福建新政府と共産党などとの關係査報方訓令	福建新政府と厦門海軍の衝突防止に關し厦門 の治安維持を國民政府および福建新政府に申 入れ方訓令	福建新政府と厦門海軍の衝突防止に關し海軍 の現状維持要請にまで立入らないよう回訓	福建新政府と厦門海軍の衝突防止に關し海軍 の現状維持要請にまで立入らないよう回訓	福建獨立運動の背後に日本側の支持ありとの 中国紙記事に關し國民政府へ取締要求方訓令	遼河工程局接収問題に対する關係各国の意向 打診方法につき意見具申	上海停戦協定区域内における中国軍通過予定 に關し陳儀中国軍政務次長に確認について	福建省新政府への軍事物資等の禁輸要請なら びに外国船舶への臨検実施に關し中国外交部 通告について	福建獨立運動と台湾軍の関連につき同軍参謀 の談話について	漳州にて開催された福建新政府擁護大会の過 激な内容について	宋子文辭職により張學良帰国の策動は一頓挫 を來したとの危道豐よりの情報について	居留民保護および赤化防止のため厦門海軍の 現状維持承認を福建新政府側に要請すべき旨 意見具申	福建新政府の成立に乗じた外国および共産党 勢力の進出に我が方は重大な関心を有する旨 黄強警備司令に申入れについて	中国外交部より英米両国側への両国福建居留 民に対する引揚げ可能性の周知および軍事物 資禁輸方要請について
631	631	630	826	826	630	629	628	627	627	626		626	625	261	825	625	623	622	75	622	620	619

九	八	七	五	二	七	七	七	八	七	七	二	一	七	七	五	三	七	六	六	六	三
664	588	492	368	139	491	490	489	587	488	487	138	54	486	485	367	241	484	409	408	407	208
昭和8年12月4日	昭和8年12月4日	昭和8年12月4日	昭和8年12月4日	昭和8年12月4日	昭和8年12月3日	昭和8年12月3日	昭和8年12月3日	昭和8年12月2日	昭和8年12月2日	昭和8年12月2日	昭和8年12月2日	昭和8年12月2日	昭和8年12月1日	昭和8年12月1日	昭和8年12月1日	昭和8年12月1日	昭和8年11月30日	昭和8年11月30日	昭和8年11月30日	昭和8年11月30日	昭和8年11月30日
三七五	二五一	三八五	一七四	公機密 一一九九	二七〇	三八四	五三	六五九	三八一	六五七	五六六	六五八	二六九	二六八	六六七	一四五三	二六四	七一〇	七〇九	二六七	公機密 一一七七
在漢口谷口総領事代理より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣より 在中国有吉公使宛(電報)	在福州守屋総領事より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣より 在中国有吉公使宛(電報)	在満州国菱刈大使より 広田外務大臣宛	在厦門塚本領事より 広田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣より 在福州守屋総領事宛(電報)	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在仏国沢田臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在厦門塚本領事より 広田外務大臣宛(電報)	在厦門塚本領事より 広田外務大臣宛(電報)	在英国松平大使より 広田外務大臣宛(電報)	在満州国菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	在厦門塚本領事より 広田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣より 在米国出淵大使宛(電報)	在満州国菱刈大使より 広田外務大臣宛
重慶における領事館再開後の対日風潮について……	小麦粉に対する関税率引上げは我が方輸出に 重大な影響を及ぼすなど我が方事情説明方訓令	福建新政府と共産党勢力との六箇条協定の存 在を林知淵肯定について	付記 十一月二十九日発菊池支那駐屯軍 平綏鉄道債務整理に関する現地陸軍側意向について	平綏鉄道債務整理は統借優先権を変更せずか つ対中国債務整理全般への影響を考慮した返 済額設定方訓令	ベルギー人実業家の満州国要人などの意見 交換について	邦人に対する居住営業の保護助長に鑑み新政 府に諸懸案解決申入れ方福州総領事に要請に ついて	福建新政府に対する福建人および外国人の反 感について	中国関税率引上げ理由に関する専門的見解の 提示遷延につき有吉公使汪兆銘を詰問について	福建新政府の内部状況に関する台湾軍参謀の 情報について	福建独立問題に関し有吉公使より汪兆銘に対 し我が方方針を申入れについて	福建新政府の組合権利譲渡交渉の進捗状況 および早急なる契約履行方勧告について	有吉公使との会談における張学良帰国問題へ の汪兆銘態度について	泉州における福建新政府成立慶祝大会を国民 政府側が空爆し死傷者多数発生との情報につ いて	厦門における福建新政府成立祝賀大会の盛況 振りについて	正太鉄道取入を担保とする鉄道材料供給借款 に關しアデイスに照会について	熱河および興安両省への商榷権拡張實現のた め満州国国税賦課の一般的承認方請訓	福建新政府と共産党勢力との間に六箇条協定 成立など両者の關係に関する情報について	借款棉第二回分の到着および処分状況などに 關する調査結果について	借款棉の不買継続方内密説示について	棉麦借款契約テキストとR F C公表との重要 な相違点について	出産税満鉄代徴問題に関する同社と満州国側 との非公式折衝について
807	728	639	489	488	171	638	637	636	636	634	169	76	633	633	487	298	632	545	545	543	261

七	三	三	三	八	七	七	七	七	三	三		三	七	七	四	四	三	三	八	八	七																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
500	248	247	246	591	499	498	497	496	245	244		209	495	494	324	323	243	242	590	589	493																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
昭和8年12月8日	昭和8年12月8日	昭和8年12月8日	昭和8年12月8日	昭和8年12月7日	昭和8年12月7日	昭和8年12月7日	昭和8年12月7日	昭和8年12月7日	昭和8年12月7日	昭和8年12月7日		昭和8年12月7日	昭和8年12月6日	昭和8年12月6日	昭和8年12月6日	昭和8年12月6日	昭和8年12月6日	昭和8年12月6日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
六七一	八一二	三二五	四四二	七三〇	六六九	六六八	七二九	二五七	八〇一	三二四		一四七六	六八一	二五六	七二八	七二七	二一四	五七	七二四	七二三	三八八																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在ハルビン森島総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在吉林森岡総領事代理より 広田外務大臣宛(電報)	在奉天峰谷総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣より 在中国有吉公使宛(電報)	在ハルビン森島総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在吉林森岡総領事代理より 広田外務大臣宛(電報)		在満洲国麥刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	在英国松平大使より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣より 在中国有吉公使宛(電報)	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在安東岡本領事より 広田外務大臣宛(電報)	在チチハル内田領事より 広田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 広田外務大臣宛(電報)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
英国側は中国外交部に対し中国領海内における英国船舶への臨検容認を通告について	満洲国課税承認問題の性急解決は治外法権の放棄として在留邦人の非難を招きひいては我が方内政問題化の危険が大なる旨意見具申	満洲国営業税賦課につき在留邦人の同意を得ることは全く困難なる旨意見具申	満洲国課税承認問題に関し日満両国の委員会の設置による税目検討方および課税承認の場合の要望事項につき意見具申	小麦粉への新聞税実施に関し唐有壬に抗議申入れについて	福建省における外国船舶臨検問題への英国側対応振りに関する新聞報道について	福建新政府の米国航空機購入説ならびに借款目的の陳友仁訪日説に関する中国紙報道について	福建省における外国船舶臨検問題について	福建省の再考同意方を唐有壬要請について	福建独立問題に対し不干渉静観方針をとるよう中央軍部より台湾軍へ再度指示について	福建省における外国船舶臨検問題について	強制力を欠く満洲国課税黙認にては多大の不都合が予想されるため日満両国間に条約締結が必要の旨意見具申	満洲国課税の邦人への適用は特殊なものを除き主義上一切否認の態度をとることが有利の旨意見具申	福建独立問題に関し中央政府を支持するタイムス紙社説について	福建独立問題に伴い満鉄による同税代徴承認方満洲国要請について	福建省における外国船舶臨検を英国側が黙認しても我が方は承認し難き旨中国側に通告について	計画の旨許卓然内話について	蔣介石や汪兆銘が下野の場合我が方と提携して華北に黄郛を首班とする半独立政権確立を計画の旨許卓然内話について	北寧線直通連絡など華北問題における親日的政策実行に対する中国政府内部の強硬な反対的狀況など許卓然内話について	商租権拡大の代償としての邦人への課税承認には反対の旨意見具申	満洲国課税の邦人への適用問題は治外法権撤廃と共に全般的解決を期すべき旨意見具申	外国産穀物への新聞税実施の経緯に関する閣務署長の内話について	外国産穀物への新聞税は十二月十六日より実施との関係署長内話について	十二月六日発在中國鈴木公使館付武官より植田参謀次長宛電報支第八六六号	付記 福建新政府と共産党勢力との提携は確実との観測について	共産党勢力との関係など福建新政府の実体について	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年12月5日	昭和8年

73

72

日付索引																						
七	七	五	七	七	七	三	三	五	三	七	七	十	二	十	七	七	六	五	四	一	五	三
516	515	372	514	513	512	215	214	371	213	511	510	683	140	682	509	508	411	370	325	56	369	253
昭和8年12月23日	昭和8年12月22日	昭和8年12月22日	昭和8年12月21日	昭和8年12月21日	昭和8年12月21日	昭和8年12月21日	昭和8年12月21日	昭和8年12月20日	昭和8年12月20日	昭和8年12月18日	昭和8年12月18日	昭和8年12月17日	昭和8年12月17日	昭和8年12月16日	昭和8年12月16日	昭和8年12月16日	昭和8年12月16日	昭和8年12月16日	昭和8年12月16日	昭和8年12月16日	昭和8年12月15日	昭和8年12月15日
二九一	合二一九六	二四二	七〇五	四七四	四三五	六五	一五四二	七一〇	一五三〇	四二四	四二三	六九二	五九八	六八九	六九〇	七五四	七五三	亜一機密合 一四五九	六九一	七五二	外信二一一	四五四
在厦門塚本領事より 広田外務大臣宛(電報)	在米國武富臨時代理大使 在米國武富臨時代理大使 〔宛(電報)〕	在青島坂根總領事より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高總領事より 広田外務大臣宛(電報)	在上海石射總領事より 広田外務大臣宛(電報)	在福州守屋總領事より 広田外務大臣宛(電報)	在安東岡本領事より 広田外務大臣宛(電報)	在滿州国菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	在英国松平大使より 広田外務大臣宛(電報)	在滿州国菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	在福州守屋總領事より 広田外務大臣宛(電報)	在福州守屋總領事より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高總領事より 広田外務大臣宛(電報)	在仏国沢田臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高總領事より 広田外務大臣宛(電報)	在南京日高總領事より 広田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣より 在中国有吉公使、在南京日高總領事、 中国中山公使館一等書記官他宛	在南京日高總領事より 広田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	東亜興業株式会社より 守島亜細亜局第一課長宛	在奉天峰谷總領事より 広田外務大臣宛(電報)
福建新政府成立後の厦門における経済状況に……	福建新政府と共産党勢力との関係について……	膠済鉄道延長線敷設計画に関し我が方と常時密接に連絡すべき旨同鉄路管理委員会委員長に申入れについて……	福建独立運動への我が方関与に関する新聞報道取締方中国外交部に申入れについて……	福建独立問題に関する唐有壬の内話大要について……	福建新政府と広西派および共産党勢力との関係について……	出産税満鉄代徴の即時実施に対する当業者の苦情について……	出産税満鉄代徴の即時実施に対する当業者の正当大鉄道収入を担保とする鉄道材料供給借款などに関する情報について……	中国視察から帰国した英国人マイヤースよりの正大鉄道収入を担保とする鉄道材料供給借款などに関する情報について……	出産税代徴に関し満州国財政部と満鉄間に協定成立について……	厦門在住邦人の居住営業保護方陳友仁および陳銘枢に注意喚起について……	福建新政府との砂糖借款契約報道は事実無根について……	上海停戦協定区域内に駐屯中の中国憲兵に対する我が方撤退要求に関し上海に赴き協議すべき旨唐有王提議について……	満州企業組合の仏国側組織に関する合意成立について……	上海停戦協定区域内中国軍通過に関する公文交換につき近く上海において会谈に応じる旨陳儀内話について……	福建省への燃料など物資輸送取締方国民政府要請に対する英国および我が方対応振りについて……	福建新政府と日本側との白糖一千万円借款契約説報道の真否確認方福州総領事へ要請について……	北寧線直通連絡の方法につき鉄道部への北寧鉄路局長の提案内容に関する新聞報道について……	道清鉄道の大名への延長計画に對し我が方の既得権に抵触する旨英國側に注意喚起方訓令……	借款棉処分に関する宋子文の意向について……	辭職後の宋子文の対日見解について……	平綏鉄道借款整理に関する武官補佐官および黃郛との会谈内容報告について……	滿州国における邦人發展阻害の虞れある課税承認には同国財政援助の目的であっても反対の旨意見具申……
659	659	495	658	657	656	269	269	494	268	656	655	828	173	827	655	654	547	493	402	78	490	313

八	593	昭和8年12月23日	七六九	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	中国関税率引上げ理由に関する財政部意見書 内容について	731
五	373	昭和8年12月25日	五四一	在中国中山公使館一等書記官より 広田外務大臣宛(電報)	平綏鉄道債務整理に関する中国側の新たな譲 歩事項について	497
五	374	昭和8年12月26日	一八三	広田外務大臣より 在中国中山公使館一等書記官宛(電報)	平綏鉄道債務整理に関し現契約上の権利確認 を先決とすべき旨東亜興業側を指導方訓令	497
七	517	昭和8年12月26日	六七七六	在福州守屋総領事より 広田外務大臣宛	福建新政府成立に伴う同省における金融混乱 状況について	661
八	594	昭和8年12月26日	七七〇	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	中国関税率引上げ理由に関する財政部意見書 は根拠薄弱のためその反駁により問題解決促 進の方針について	732
十	700	昭和8年12月26日	二四九	在青島坂根総領事より 広田外務大臣宛(電報)	本邦警察官および密輸嫌疑の本邦商船乗組員 に対する青島海関員の発砲・暴行事件に関し て同海関に厳重抗議について	854
十	701	昭和8年12月26日	二五〇	在青島坂根総領事より 広田外務大臣宛(電報)	密輸取締に関連した本邦人と海関側の紛擾に 鑑み意思疎通のため下級税関職員に邦人採用 方稅務司に申入れについて	856
六	412	昭和8年12月27日	二七三	広田外務大臣より 在中国有吉公使宛(電報)	借款小麦に対する輸入税免除の風評に関し真 偽確認方訓令	547
七	518	昭和8年12月27日	二七二	広田外務大臣より 在中国有吉公使宛(電報)	国民政府側の福建省都市空爆に対する措置方 訓令	662
七	519	昭和8年12月27日	五四三	在中国中山公使館一等書記官より 広田外務大臣宛(電報)	福州南台島への空爆中止を国民政府に交渉方 同地領事団よりの要請に関し関係各国より居 留民保護要請の電報発出方首席公使提案につ いて	662
四	326	昭和8年12月28日	五七四	在天津栗原総領事より 広田外務大臣宛(電報)	北寧線直通連絡促進提議に対する党部の同鉄 路局長問責問題などに関連し中国政府内での 黄郭の立場を孫潤宇内話について	403
六	413	昭和8年12月28日	七七三	在中国有吉公使より 広田外務大臣宛(電報)	借款小麦に対する関税徴収状況について	548
七	520	昭和8年12月28日	七一五	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	陳儀に対し福州爆撃につき注意喚起について	664
七	521	昭和8年12月29日	五五二	在中国中山公使館一等書記官より 広田外務大臣宛(電報)	国民政府への福州空爆差止め要請に関し首席 公使に回答について	664
四	327	昭和8年12月30日	五八〇	在天津栗原総領事より 広田外務大臣宛(電報)	北寧線直通連絡促進提議に対する孫科の反対 および汪兆銘の意向に関し同鉄路局長内話に ついて	404
四	328	昭和8年12月30日	一五八一	在満州国菱刈大使より 広田外務大臣宛(電報)	北寧線直通連絡問題による引責辞職はない旨 および黄郭らによる蔣介石への党部改革提案 に関する同鉄路局長内話について	405
七	522	昭和8年12月30日	四六一	在福州守屋総領事より 広田外務大臣宛(電報)	福建新政府が決定した関税付加税徴収は条約 違反の旨注意喚起について	664
七	523	昭和8年12月30日	七一九	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	中国外交部より軍事行動の際の本邦人の安全 を期するため廈門在留者を鼓浪島に福州在留 者を南台島に移転方要請について	665
十	684	昭和8年12月30日	四九〇	在上海石射総領事より 広田外務大臣宛(電報)	上海停戦協定区域内中国軍通過に関する公文 交換につき交渉継続方意見具申	829
				付記一 昭和九年一月四日発在上海石射総領事より 中国側憲兵駐屯承認を交換条件として いるため我が陸軍側は右公文交換に反対 との情報について	830	
				二 昭和九年一月九日発広田外務大臣より 右公文交換交渉継続方および同交渉に おける留意点につき訓令	830	

日本外交文書
昭和期Ⅱ第一部第二卷
(昭和八年対中国関係)
不許複製
Documents on
Japanese Foreign Policy
Showa Era, Series II Part 1
Volume 2 (1933)

平成十年七月二十一日印刷
平成十年七月三十一日発行

外務省編纂
外務省発行
印刷所
東京都中央区新富
一十三—二十六
新富TTビル
株式会社 稲元印刷

七	526	昭和八年十二月三十一日	七二三	在南京日高総領事より 広田外務大臣宛(電報)	福州空爆差止め方中国外交部に公文提出につ いて	667
七	525	昭和八年十二月三十一日	三〇一	在厦門塚本領事より 広田外務大臣宛(電報)	厦門在留邦人の鼓浪島避難は不可能につき国 民政府に実情申入れ方南京総領事宛要請につ いて	666
七	524	昭和八年十二月三十一日	四六五	在福州守屋総領事より 広田外務大臣宛(電報)	在留民の南台島への引揚げ方中国外交部要請 に關し英国領事より我が方対応方針照会につ いて	666
				六 右交換公文および議事録仮訳文		836
				五 昭和九年三月二十七日付在上海石射総領事より 右交換公文および議事録写送付についで		832
				四 昭和九年三月二十八日着在上海石射総領事より 中国側国内事情より公文嚴秘方意見具申		832
				三 昭和九年三月二十八日着在上海石射総領事より 右交換公文署名完了および同公文を極秘とした交渉事情についで		831